



第33回 通常総会議案書



パルシシステム協力会

2022年7月5日(火)

● も く じ

第1号議案	2021年度(第32期)活動報告承認の件	2
	2021年度(第32期)活動報告	4
第2号議案	2021年度(第32期)決算報告、 ならびに監査報告承認の件	9
	監査報告書	10
第3号議案	2022年度(第33期)活動方針(案)承認の件	13
第4号議案	2022年度(第33期)予算(案)承認の件	15
【参考】第33期幹事会役員体制		16
商品展示・組合員交流部会(商品展示会実行委員会)・活動報告		18
物流部会・活動報告		22
品質管理部会・活動報告		26
環境部会・活動報告		34
異業種交流部会・活動報告		38
協力会・会員名簿		43
■正会員		
■準会員		
■特別会員		
2021年度パルシステム商品学習会工場見学開催実績		48
<資料>		
パルシステム協力会会則		52
パルシステム協力会公式サイト案内		57

第1号議案

2021年度(第32期)活動報告承認の件

I. はじめに

2020年1月から始まった新型コロナウイルス感染症は、昨年、感染力の強い「オミクロン株」が南アフリカで発見され、2022年1月には爆発的な感染（第6波）となりました。この間、政府は3回目のワクチン接種を決め、12月から接種を進めていますが、3月時点で4割程度の接種率の一方で、若い世代の接種が進まない状況です。

1年延期された東京オリンピック、パラリンピックは東京都のまん延防止等重点措置が発令されている中、多くの競技が無観客で行われ、会場は静かでしたが、出場したアスリートが持てる力を発揮。オリンピックでは過去最多の58個のメダルを獲得し、明るい話題を提供しました。

2022年2月冬季オリンピックが北京で開催される中、ロシアによるウクライナ侵攻は全世界を巻き込み、景気、エネルギー需給、食糧需給等、今までにない影響を及ぼしています。

以上のような社会情勢の中、パルシステム協力会（以下、協力会）は、改めて協力会会員、パルシステム会員生協、パルシステム連合会関係部署、パルシステム・生産者・消費者協議会（以下、生消協）と連携・協力しながら、パルシステムグループの事業と運動に協力、支援を行い、ひいては協力会会員同士の事業活動にも寄与できる活動を行うと共に、今後、社会・経済状況の変化に、どう対応・適応して、協力や貢献ができるかの岐路に立たされております。

II. パルシステム連合会の2021年度事業状況

パルシステム連合会の2021年度の総事業高は、1,956億円、前年比95.4%（会計基準変更の影響による）、予算比102.6%で推移しています。

III. 2021年度活動方針・活動報告

2021年度は、7月にRemoを使用して通常総会を、11月にはoViceを使用して秋の講演会を、1月はRemoを使用して賀詞交歓会を新春の集いに変更して、すべてオンラインでの開催となりました。

2022年3月現在、正会員233社、準会員78社、特別会員10会員、計321会員が協力会に会員登録していただいております。

1. コロナ禍、パルシステム協力会は、活動の制約条件を克服しながら、関係各位皆様のご意見を取り入れながら、会員（取引先）、パルシステム連合会、会員生協（組合員）に貢献できる活動を行って参ります。

協力会総会、秋の講演会、新春の集い（賀詞交歓会）を、オンラインを活用して開催しました。このオンラインでは新しい試みとして、RemoやoViceを利用して組合員理事や役職員と交流を図りました。

協力会・各部会活動では、オンラインによる「講演会」、「学習会」を行い、また「商品展示会」は、会員生協と協力して開催しました。

2. 生消協と協力会は、双方の課題を確認、共有化するため、交流を通してお互いに伝え学び、相互の理解を深め、課題の解決をめざします。

2021年8月、2022年2月に双方の幹事による「生消協・協力会連携会議」をオンラインで開催しました。この会議を通して、次のステップに向けての課題、取り組みを具体化させる行動が必要

との認識に至りました。

※「生消協・協力会連携会議」の詳しい内容については、6ページをご覧ください。

3. 情報発信力を強化していきます。

パルシステム協力会ホームページに各行事の掲載を行いました。一方で、タイムリーな情報掲載に至らず今後の課題と考えています。

4. 商品管理・品質保証の充実に取り組みます。

- (1) 連合会品質保証部と連携して、2021年9月、2022年3月と2回、学習会を開催しました。
- (2) 品質管理強化月間ポスターを作成し、2021年6～7月に食品取扱メーカーを中心に配付し掲示を促し、注意喚起を行いました。
- (3)「HACCPリーダー養成講座」を、2022年2月23日～25日にかけて、オンラインにて開催し、10社10名が参加しました。

※ 品質管理に対する取り組みの詳細は、26～33ページの「品質管理部会」活動報告をご覧ください。

5. 「商品展示会」、「リアル」と「オンライン」双方を考慮した、ハイブリッド型提案を行います。

2021年度、9会員生協にてオンラインによる、「商品展示会」を開催しました。「試食」についても、事前配付、プレゼント配付等、工夫して対応しました。リアル開催を取り入れたハイブリッド型開催もパルシステム神奈川にて開催されました。2021年度は、参加延べ人数3,592人・前年比271%(前年1,326人)でした。

※ 商品展示会の詳しい内容は、18～21ページの「商品展示・組合員交流部会」活動報告と、2022年5月発行「2021年度第27回商品展示会レポート」をご覧ください。

6. 物流課題解決に向けて取り組んでいきます。

- (1) 連合会物流部と連携し、2021年9月、2022年3月の2回、学習会を開催しました。
- (2) 歳末物流強化月間ポスターを作成し、配付会員（取引先）数315会員、会員生協センター62センター、配付枚数1,901配付・掲示を促し、注意喚起を行いました。

※ 物流課題の詳しい内容は、22～25ページの「物流部会」活動報告をご覧ください。

7. 「SDGs(持続可能な社会)」の取り組みを推進します。

連合会環境活動推進室と連携した「海岸クリーンアップ活動」は、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症のため、開催できませんでした。

環境部会では、各社の「SDGs取り組み」の報告を行い、共有化を図りました。また、3月に講演会を開催しました。

※ 環境に関する取り組みの詳しい内容は、34～37ページの「環境部会」活動報告をご覧ください。

8. 組合員向け、「パルシステム商品学習会」、「工場見学」、「センターまつり」の充実・円滑運営を図ります。

2021年度学習会開催158件（前年41件）、延べ参加人数2,968人の実績でした。オンラインを使った取り組みは、会員（取引先）、参加組合員（消費者）も徐々に慣れ、創意工夫が見られるようになりました。

※ 学習会・工場見学・センターまつりの取り組みの詳しい内容は、48～51ページの「2021年度学習会・工場見学」開催実績をご覧ください。

Ⅳ. 2021年度協力会主要活動報告

1. 第32回通常総会 日時／2021年7月6日(火)

第1部：パルシステム協力会「第32回通常総会」

事前に協力会・全会員の皆様に「総会議案書」を、配信のうえ総会を開催いたしました。

場 所：(株)パルシステム・リレーションズスタジオ他よりオンライン配信

代議員数：会員総数 322会員(内訳 正会員：233 準会員：79 特別会員：10)

出席者数：正会員166会員(オンライン出席130会員、委任状36会員)

オンライン参加総人数・約300名。

※総会申込会員数を記載しております。

233会員中、130会員の出席と委任状提出・36会員、合計166会員となり、過半数となり本総会は成立している旨を議長が宣言しました。

第2部：記念講演会

演 題：「パルシステム連合会2030年ビジョン～BEYONDコロナ～」

講演者：パルシステム生活協同組合連合会代表理事 理事長 大信政一氏

大信理事長より、首都圏コープ時代よりの概要説明から、パルシステムの理念、2030年ビジョンの視点・対象・内容・課題等について、具体例を示しながら詳細な説明がありました。

第3部：交流会

交流会を初めてオンラインで行いました。今回の交流会はZoomではなくRemoという新しいツールを使って開催をいたしました。コロナ禍で直接会う機会がしばらく実現できておらず、久しぶりに旧交を温める機会になったとの感想が寄せられました。

事前にマニュアルを作成し配付、また、体験デモを行うなど周知に努め、入室における混乱を最小限に抑えるようにしました。

2. 秋の講演会・懇親会 日時／2021年11月9日(火)

第1部：講演

演 題：「有機農業の拡大に向けて～川上(生産)から川下(加工・流通)までの未来と持続性を考える～」

講演者：名古屋大学大学院環境学研究科教授 香坂 玲氏

参加数：166アカウント・417名(内生消協・3名・会員生協9名)

香坂先生の講演は、「有機農業」の定義の説明から、EU(ドイツ・オーストリア・フランス・イタリア)における「有機農業」の実態を説明。

また、農林水産省「みどりの食糧戦略システム」の概要を説明し、その関連で国内有機農業の説明がありました。「生物多様性」と、「脱炭素」取り組みとの関連性の説明など、多岐にわたる説明がありました。

その後、物流部会歳末物流強化月間取り組みのご案内を物流部会長大葉秀樹氏が行い、(株)ふれあいサービスから「パルシステム協力会／ふれあい保障制度」の報告がありました。



香坂 玲教授



オンライン交流会の様子

第2部：オンライン大交流会

オンライン会議システム「oVice（オヴィス）」を使用して、開催しました。参加人数は、約180名でした。

オヴィスは、立ち話レベルの交流が可能なツールでしたので、気軽に相手との交流が出来たとの感想が寄せられました。

3. パルシステムグループ新春の集い(賀詞交歓会) 日時／2022年1月12日(水)

第1部：新春の集い

例年、パルシステムグループ、生消協、協力会が共催している賀詞交歓会は新型コロナウイルスまん延防止等重点措置が発令されている中、一堂が会して実施することを中止し、「新春の集い」として、オンラインで顔を合わせる式典に変更しました。

この式典ではそれぞれとの交流を実施することから会議システム「Remo（リモ）」を使用して、開催しました。全体アカウント数の上限の関係から、各社に協力をいただき、1会員1アカウントと制限を設け、この結果、協力会関係者は161アカウント／290名の参加となりました。

冒頭、大信理事長のごあいさつの後、各会員生協より理事長のご挨拶や理事の紹介などそれぞれ工夫を凝らした動画が放映されました。それぞれ個性があり、参加者に好評でした。

その後、洪澤専務よりパルシステム事業活動報告があり、生消協代表幹事の天津清次氏が中締めを行い、第2部に進みました。

第2部：交流会

引き続きRemoを利用して、交流会が行われました。参加者総勢210アカウントとなり、混乱を防ぐため、階層を設けましたが、参加者はなかなかお目当ての方を探すことができず、苦慮していました。

交流会の締めとして、協力会安田会長のあいさつがあり、閉会となりました。

4. 第32期パルシステム協力会臨時総会(書面議決)開催 2022年3月28日(月)

2021年度の予算では、様々な行事、活動をリアルで実施することを前提とした予算組みにしましたが、新型コロナの影響で思うような活動ができず、次期繰越金が多く発生する見込みとなりました。このため、第7回幹事会において2022年度も前年と同様に年会費を半額にする事を協議し、臨時総会に諮り、決定することになりました。

臨時総会はまん延防止等重点措置が発令されている中でもあり、書面で行うことになりました。

(書面議決結果)

・正会員235社中152社提出(提出率:64.68%)

第1号議案 2022年度年会費基準改定の件 賛成152、反対0、無効0

すべての議案について過半数の賛成をもって可決されました。

5. 「生消協・協力会連携会議」

第1回:2021年8月24日(火)開催

出席者:生消協・大津代表幹事ほか生産者幹事12名、協力会竹内副会長ほか14名参加。

連合会より辻常務執行役員ほか3名

開催の結果、今後、お互いを知ることや理念の共有から進めていくことを確認しました。

また、農畜産生産現場の生産等における現状の課題・悩みを報告。当日参加生消協の5部会選出の幹事より、部門による課題等の報告、協力会からは、メーカーと産地の提携の報告があり、共有されました。

第2回:2022年2月17日(木)開催

出席者:生消協・大津代表幹事ほか生産者幹事12名、協力会安田会長ほか14名参加。連合会より辻常務執行役員ほか3名

参加者の意見として、まだ、双方の理解が少ないこと(信頼関係の構築)やオンラインではなかなかお互いを深く理解しにくいこと(リアル交流が必要)、共通の価値の創出(そのための共通の学習)等のご意見をいただきました。

生産者・メーカー・生協・組合員のサプライチェーンの中で共通の価値を共創した活動と趣旨に理解と共感を確認し締めくくられました。

6. 会議

幹事会

月日・場所・参加者	内容
2021年4月7日(水) 第32期・第1回幹事会 (リモート会議) 出席/安田会長(北海道漁連)、竹内副会長(井ゲタ竹内)、江橋事務局長(三菱食品)ほか幹事会社6社出席。 連合会:辻常務理事ほか5名出席。	・パルシステム協力会 寄附金(生活困窮者支援)贈呈式報告 ・第32回パルシステム協力会 通常総会について 2021年7月6日(火)、出光キッチンスタジオよりライブ配信。 運営、議案ごとの役割分担を確認。 ・第32期秋の講演会について 2021年11月9日(火)開催予定。事務局より、東新宿よりのライブ配信を提案。 ・各部会報告、4/21商品展示実行委員会、4/23ゲノム編集学習会、6/23佐久ゆうきの会公開確認会視聴について提案。

月日・場所・参加者	内容
2021年6月8日(火) 第32期・第2回(臨時)幹事会 (リモート会議) 出席／安田会長(北海道漁連)、竹内副会長(井ゲタ竹内)、江橋事務局長(三菱食品)ほか幹事会社12社出席。 連合会安原交流政策室長ほか2名出席。	・2020年度(第31期)決算報告及び2021年度(第32期)予算案承認。 ・竹内監事(大洋香料株式会社 代表取締役社長)交代について承認。 ・第32回通常総会の件。第32期活動方針案(1次案)を承認。幹事は可能な限り配信会場に集まる事を確認。 ・秋の講演会、2021年11月9日(火)開催決定。東新宿より配信で決定。
2021年7月6日(火) 第32期・第3回幹事会 (リアル会議) 出席／安田会長(北海道漁連)、竹内副会長(井ゲタ竹内)、江橋事務局長(三菱食品)ほか幹事会社23社出席。	・通常総会、講演会及び懇親会スケジュール・役割分担。配信会場(出光ビル)、東新宿会議室に分散して、幹事出席。 ・記念講演会(大信理事長)、役割分担について。 ・オンライン交流会。オンライン会議システム「Remo(リモ)」を利用して開催しました。
2021年9月3日(金) 第32期・第4回幹事会 (リモート会議) 出席／安田会長(北海道漁連)、竹内副会長(井ゲタ竹内)、江橋事務局長(三菱食品)ほか幹事会社19社出席。 連合会6名出席。	・第32期秋の講演会について オンラインとリアルによる、ハイブリッド方式にて開催。 講演会終了後、交流会開催も実施。 講演者書籍予約販売も行うことを確認。 ・第1回生消協・協力会連携会議報告。 生消協5部会幹事より、現状の課題報告。協力会3幹事会社より、提携の具体的取り組み報告。これから、お互いを知り、取り組みについて共感、理解することが必要。
2021年11月9日(火) 第32期・第5回幹事会 (リモート会議) 出席／安田会長(北海道漁連)、竹内副会長(井ゲタ竹内)、江橋事務局長(三菱食品)ほか幹事会社21社出席。 連合会7名出席。	・第32期秋の講演会、役割分担・段取り確認。 ・パルシステムグループ2022年新春の集い(案)について 2022年1月12日(水)オンライン・Remoを使い開催。 ・学習会サンプル品・品質クレーム発生報告。試食用・サンプル試食品について、今後注意喚起、共有化が必要との確認を行いました。
2022年1月12日(水) 第32期・第6回幹事会 (リアル+リモート会議) 出席／安田会長(北海道漁連)、竹内副会長(井ゲタ竹内)、江橋事務局長(三菱食品)ほか幹事会社21社出席。 連合会4名出席。	・「新春の集い」役割分担・段取り確認。 ・2022年度第33期通常総会開催案について。 ホテルニューオータニ(東京)開催案 熱海後楽園ホテル(熱海)開催案 その他開催案の検討。新型コロナウイルス感染症の状況次第、宿泊、懇親会はどうするか、次回までに検討する。 ・2022年度幹事会・各部会開催日程／時間の変更について 開催回数減、会議時間、60分→90分に変更。 ・2021年度会計繰越金について。前年度とほぼ同等の繰越が見込まれるので、2022年度協力会・年会費を半額とする件を了承。

月日・場所・参加者	内容
2022年3月4日(金) 第32期・第7回幹事会 (リアル+リモート会議) 出席／安田会長(北海道漁連)、竹内 副会長(井ゲタ竹内)、江橋事務局長 (三菱食品) ほか幹事会社20社出席。 連合会5名。	・第32期・臨時総会・第8回臨時幹事会開催について。 2022年3月28日開催にて決定。 ・ふれあい保証制度(結婚祝い金・繰越金) 取り扱いについて。 ・2022年度(第33期) 通常総会開催について 2022年7月5日(火) 開催。 通常総会・講演会、13:30～16:40 ベルサール新宿セントラルパーク ハイブリッド(リアル開催+オンライン配信) 方式にて検討。 懇親会(17:30～19:30) ヒルトン東京4F/「洋食コース/着席」 講演会講師:「ゲーム理論とは」 渡辺 隆裕(ワタナベ タカヒロ) 氏 東京都立大学経済経営学部 経済経営学科 教授 ・第32期パルシステム協力会臨時総会 書面議決結果報告につ いて
2022年3月28日(月) 第32期・第8回臨時幹事会 (リモート会議) 出席／安田会長(北海道漁連)、竹内 副会長(井ゲタ竹内)、江橋事務局長 (三菱食品) ほか幹事会社20社出席。 連合会6名。	・2022年度 第33期パルシステム協力会通常総会について 2022年度第33期活動方針案(0次案) 報告。 「ホワイト物流」推進について、検討することとなった。 ・懇親会での出し物(余興) について確認。 ・2021年度会計監査・ふれあい保障制度監査 日程確定。 2022年5月25日(水)実施

7. 慶弔・その他

●慶弔

2021(令和3)年度

2021年

5月25日

株式会社パルブレッド 常務取締役 寺尾 正樹様、
御尊父 寺尾 久様 ご逝去につき、弔電、生花を送る。

6月15日

JAささかみ(現:JA新潟かがやき) 前代表理事組合長 稲毛 秀利様
ご逝去につき弔電、生花を送る。

2022(令和4)年

1月26日

いなば食品株式会社 取締役会長 稲葉 優子様、
ご母堂 合原 秀子様 ご逝去につき、弔電を送る。

2月10日

株式会社オルター・トレード・ジャパン(ATJ)
代表取締役社長 生田 喜和様 ご逝去につき、弔電を送る。

第2号議案

2021年度(第32期)決算報告、ならびに監査報告承認の件

2021年度 パルシステム協力会

自 2021年 5月1日～至 2022年 4月30日

(単位:円)

勘定科目		当期予算額	当期実績額	予算増減額	予算対比	備考
収入	年会費収入	18,250,000	18,150,000	△ 100,000	99.5%	正会員・準会員・特別会員※特例半額徴収
	その他会費収入	0	0	0	0.0%	参加費追加徴収 総会・講演会・賀詞交歓会
	合 計	18,250,000	18,150,000	△ 100,000	99.5%	
支出	委託費	3,960,000	3,960,000	0	100.0%	事務局業務委託費
	通信費	2,331,000	918,918	△ 1,412,082	39.4%	
	(カタログ発送費)	66,000	△ 293,371	△ 359,371	-444.5%	カタログ発送費実費徴収、カタログデータ転送費
	(郵便料金)	25,000	140	△ 24,860	0.6%	
	(LAN及び分担費)	240,000	138,600	△ 101,400	57.8%	
	(その他通信費)	2,000,000	1,073,549	△ 926,451	53.7%	HPメンテナンス、更新作業サポート費用
	旅費交通費	0	0	0	0.0%	事務局交通費
	会議費	200,000	0	△ 200,000	0.0%	幹事会
	調査研究費	400,000	365,948	△ 34,052	91.5%	コープ手帳購入他
	消耗品費	100,000	57,877	△ 42,123	57.9%	専用封筒作成前年度費用(追加作成)
	渉外費	100,000	44,000	△ 56,000	44.0%	慶弔関係費・生花代
	事務所負担費	400,000	396,000	△ 4,000	99.0%	半期ごとの支払い
	会計委託費	200,000	198,000	△ 2,000	99.0%	半期ごとの支払い
	部会費	3,650,000	2,401,589	△ 1,248,411	65.8%	
	(組合員交流部会費)	50,000	0	△ 50,000	0.0%	商品展示会実行委員会運営
	(物流部会費)	900,000	1,025,763	125,763	114.0%	研修会、セミナー、講演会、歳末強化月間ポスター
	(品質管理部会費)	900,000	770,826	△ 129,174	85.6%	研修会、学習会(年2回)、品質管理強化月間ポスター、HACCPリーダー養成講座補助
	(環境部会費)	900,000	330,000	△ 570,000	36.7%	研修会、講演会、海岸クリーンアップ活動
	(異業種交流部会費)	900,000	275,000	△ 625,000	30.6%	研修会、学習会、部会運営
	エコドライブ運動費	0	0	0	0.0%	
	商品展示会費	2,850,000	2,842,794	△ 7,206	99.7%	
	(会員生協補助)	900,000	900,000	0	100.0%	
	(出展会員補助)	1,900,000	870,000	△ 1,030,000	45.8%	
	(展示会保険)	30,000	90	△ 29,910	0.3%	
	(まとめ冊子作成費)	0	1,072,704	1,072,704	0.0%	
	(備品作成費)	20,000	0	△ 20,000	0.0%	のほり協力会エプロン追加、クリーニング費用
	(諸口)	0	0	0	0.0%	
	総会費	1,300,000	981,416	△ 318,584	75.5%	
	(会場費)	0	0	0	0.0%	含む懇親会費
	(議案書作成費)	800,000	917,812	117,812	114.7%	紙及びeBOOK制作
	(その他運営費)	500,000	63,604	△ 436,396	12.7%	講演料、懇親会運営費、プログラム(次第)作成費他
	秋の講演会費	3,500,000	651,270	△ 2,848,730	18.6%	会場費、懇親会費等
	賀詞交歓会費	3,500,000	116,232	△ 3,383,768	3.3%	
	雑費	100,000	81,928	△ 18,072	81.9%	支払手数料、協賛金等
	災害支援費	0	0	0	0.0%	
	予備費	5,000,000	0	△ 5,000,000	0.0%	
	合 計	27,591,000	13,015,972	△ 14,575,028	47.2%	
事業剰余金		△ 9,341,000	5,134,028	14,475,028	-55.0%	
雑収入		400	458	58	114.5%	
当期剰余金		△ 9,340,600	5,134,486	14,475,086	-55.0%	
前期繰越金		25,782,464	25,782,464	0	100.0%	
次期繰越金		16,441,864	30,916,950	14,475,086	188.0%	

2022年5月25日

パルシステム協力会

会長 安田 昌樹 殿

監事 松永 忠徳



監事 宮 敬一郎



監事 長谷川 雅人



監 査 報 告 書

私監事3名は会則第6条5項に基づき、2022年5月25日パルシステム生活協同組合連合会会議室にて、2021年5月1日～2022年4月30日までの年度会計収支決算について、下記の通り厳正に監査を実施しましたので、ここに報告いたします。

記

1. 監査日時 2022年5月25日 15時00分～16時00分
2. 監査場所 パルシステム生活協同組合連合会東新宿事務所 4階 第10会議室
3. 監査立会人
パルシステム協力会 会計 井上 文喜
パルシステム協力会 会計 酒井 久徳
パルシステム協力会 監事 松永 忠徳
パルシステム協力会 監事 宮 敬一郎
パルシステム協力会 監事 長谷川 雅人
パルシステム生活協同組合連合会 経理部経理1課 小柴 壮志
パルシステム生活協同組合連合会 経理部経理1課 田中 浩行
パルシステム協力会事務局 土肥 勝憲
4. 監査の範囲 2021年度一般会計の収支決算について
5. 監査の方法 事務局より決算資料の説明を行い、その後監査を開始しました。その後決算書、期末残高証明書の照合確認を行いました。
6. 監査結果
1) 一般会計は適正に処理されていました。
2) 預金通帳・現金出納帳・入出金伝票・領収書の書類は整理されていました。
3) 期末残高は、預金通帳などとも合致していました。
7. 付記意見 パルシステム協力会の各活動が活発になるよう、引き続き適正な予算執行が行われることを望みます。

以上

ふれあい保障制度収支報告書

2021年度 パルシステム協力会
自 2021年 5月1日 至 2022年 4月30日

(単位:円)

項目		当期予算額	当期実績額	予算増減額	予算対比	備考
収入	掛 金	39,733,200	42,454,800	2,721,600	106.8%	ふれあい保障制度 掛金 加入人数×3,600円
	(ふれあい保障制度)	37,746,540	40,332,060	2,585,520	106.8%	ふれあい保障制度 掛金のうち95%
	(結 婚 祝 い 金)	1,986,660	2,122,740	136,080	106.8%	ふれあい保障制度 掛金のうち5%
	合 計	39,733,200	42,454,800	2,721,600	106.8%	
支出	ふれあい保障制度保険料	37,746,540	40,814,280	3,067,740	108.1%	
	結 婚 祝 い 金	1,700,000	1,760,000	60,000	103.5%	
	振 込 手 数 料	27,600	30,910	3,310	112.0%	振込手数料：30,690円、 残高証明書発行手数料：220円
	合 計	39,474,140	42,605,190	3,131,050	107.9%	
雑 収 入		0	119	119	-	預金利息
当 期 剰 余 金		286,660	362,740	76,080	126.5%	結婚祝い金分
前 期 繰 越 金		4,590,196	4,590,196	0	100.0%	結婚祝い金分
次 期 繰 越 金		4,876,856	4,952,936	76,080	101.6%	結婚祝い金分

ふれあい保障制度【結婚祝い金】収支予算書

2022年度 パルシステム協力会
自 2022年 5月1日 至 2023年 4月30日

(単位:円)

項目		2021年度実績額	2022年度予算額	増減額	備考
収入	掛 金	42,454,800	42,454,800	0	ふれあい保障制度 掛金 加入人数×3,600円
	(ふれあい保障制度)	40,332,060	40,332,060	0	ふれあい保障制度 掛金のうち95%
	(結 婚 祝 い 金)	2,122,740	2,122,740	0	ふれあい保障制度 掛金のうち5%
	合 計	42,454,800	42,454,800	0	
支出	ふれあい保障制度保険料	40,814,280	40,814,280	0	
	結 婚 祝 い 金	1,760,000	1,760,000	0	
	振 込 手 数 料	30,910	30,910	0	
	合 計	42,605,190	42,605,190	0	
雑 収 入		119	119	0	
当 期 剰 余 金		362,740	362,740	0	結婚祝い金分
前 期 繰 越 金		4,590,196	4,952,936	362,740	結婚祝い金分
次 期 繰 越 金		4,952,936	5,315,676	362,740	結婚祝い金分

※ 2022年度予算は前年度実績ベースで組んでおります。

※ 結婚祝い金繰越金の取り扱いについては適宜幹事会にて協議を行い対応を決定する事といたします。

パルシステム協力会会長 安田 昌樹 殿

2022年5月25日

監事 松永 忠徳



監事 宮 敬一郎



監事 長谷川 雅人



ふれあい保障制度監査報告書

私監事3名は会則第6条5項に基づき、2022年5月25日パルシステム生活協同組合連合会会議室にて、2021年5月1日～2022年4月30日までの年度ふれあい保障制度会計収支決算について、下記の通り厳正に監査を実施しましたので、ここに報告いたします。

記

1. 監査日時 2022年5月25日 15時00分～16時00分
2. 監査場所 パルシステム生活協同組合連合会東新宿事務所 4階 第10会議室
3. 監査立会人
パルシステム協力会 会計 井上 文喜
パルシステム協力会 会計 酒井 久徳
パルシステム協力会 監事 松永 忠徳
パルシステム協力会 監事 宮 敬一郎
パルシステム協力会 監事 長谷川 雅人
株式会社パルふれあいサービス 酒井 武左志
株式会社パルふれあいサービス 霜田 洋一
パルシステム生活協同組合連合会 経理部経理1課 小柴 壮志
パルシステム生活協同組合連合会 経理部経理1課 田中 浩行
パルシステム協力会事務局 土肥 勝憲
4. 監査の範囲及び方法 共済口預金出納帳の提出を求め、監査を行いました。
5. 監査結果 ふれあい保障制度会計は適正に処理されていました。
6. 付記意見 結婚祝い金繰越金の取り扱いについては今後幹事会にて適宜対策を講じる事を望みます。

以上

第3号議案

2022年度(第33期)活動方針(案)承認の件

〔「ポスト（アフター）コロナ」を視野に、新たな活動の在り方を提案し行動します〕

「新型コロナウイルス感染症」は、第6波まで拡大しましたが、世界的にもポスト（アフター）コロナを視野にいた、新しいフェーズ（局面）になりつつあります。

また2月に発生した「ロシアによるウクライナ侵攻」は、世界中を巻き込み、景気、エネルギー、食糧問題等大きな影響を及ぼしています。こうした社会情勢（コロナ禍、ウクライナ情勢）により、協力会・会員においては、種々の課題が発生、業務内容の変更が発生しました。パルシステム連合会においても、経営、組合員活動において変化対応や将来への課題が発生しました。

こうした状況を踏まえ、パルシステム協力会（以下協力会という）は、皆様の課題解決の一助となるべく活動して参ります。

〔2022年度 活動方針案〕

I ポスト（アフター）コロナを視野に、パルシステムの新しい行動テーマ「もっといい明日へ 超えてく」の理念に共鳴し、サステナブルやエシカルへの取り組みについて、協力会・会員（取引先）、パルシステム連合会、会員生協（組合員）、原料生産者とも連携しながら、貢献できる活動を行って参ります。

II 協力会はパルシステム生産者・消費者協議会（以下、生消協という）と「共創」を目指し以下の活動に取り組みます。

1. ポスト（アフター）コロナを見据え顕著になっている物流コストの高騰に対応するため、商品の共同配送や、人材の連携・補完体制について研究します。
2. 生消協・協力会、双方会員の交流を図るため、ブロック（エリア）会議の開催を目指します。
3. 農・林・水産・疑似体験・応援体験企画（繁忙期の双方人的交流）、行政の協力も得ながら、地域社会の問題（SDGs等）に取り組む等、双方を知る機会を事例研究します。※1

III 環境変化に対応した情報提供に努めます。

1. コロナ禍、ポスト（アフター）コロナの社会問題、社会環境、ビジネスツール、働き方等、情報提供を行います。
2. パルシステムの新しい行動テーマ「もっといい明日へ 超えてく」について、協力会内部研修会、学習会を企画します。
3. 「HACCPリーダー養成講座」を、年1回開催しリーダー育成を支援します。

IV 商品管理・品質保証の充実に取り組みます。

1. 「品質管理学習会」（上期1回・下期1回）は、役に立つ、参考となる、をモットーに、パルシステム連合会品質保証部とも連携し学習を進めていきます。
2. 品質管理強化月間を設定、ポスターを作成、配付し活用いただきます。
3. 協力会ホームページを一層活用し、協力会や協力会会員の活動紹介、パルシステム連合会、生消協、業界の情報発信を行います。

V 2022年度パルシステム商品展示会では会員生協と連携しながら交流の機会や交流する人数を増やします。

1. コロナ禍3年にわたる「オンライン」での経験を活かし、「リアル」「オンライン」「ハイブリッド」いずれの開催形態にも対応します。
2. 産直原料産地を中心に、生産者の商品展示会への参加を促し交流の機会をつくります。

VI 物流課題解決に向けて取り組んでいきます。

1. パルシステム連合会物流部と連携し物流に関する諸課題を解決に導くソリューション（セミナーやフォーラム、講演会等）を会員へ提供していきます。
2. 歳末物流強化月間ポスターを制作し物流トラブル防止の啓蒙に努めます。
3. 今後の物流環境の変化に対応すべく「ホワイト物流」推進運動への理解を深め、荷主企業・物流事業者等関係者の連携を図ります。※2

VII 「SDGs(持続可能な社会)」の取り組みを強化し、積極的に推進します。

1. 「SDGs(持続可能な社会)」の取組みは、普及、啓蒙された取組みとなりましたが、各企業・団体・組織の具体的な取組みとして進化させるべく、勉強会（セミナー）や講演会等を企画し取組み具体例の情報共有を図ります。
2. パルシステム連合会環境活動推進室との連携を強化し中断している海岸クリーンアップ活動やパルシステム商品展示会におけるプラ削減やゴミ排出総量削減の課題に取り組みます。
3. 「ゲノム編集技術応用食品」に関するセミナーを開催し会員への情報提供を継続します。

VIII 組合員向け、「パルシステム商品学習会」、「工場見学」、「センターまつり」の充実・円滑運営を図ります。

1. ポスト（アフター）コロナを視野に、これまでのオンラインの経験、メリットを活用したリアル開催を中心に「パルシステム商品学習会」、「工場見学」、「センターまつり(休止中)」を協力会会員、会員生協と共に企画や実施方法について、オンラインとリアルのハイブリッドによる「五感と記憶に残る」新しい交流の場として進化させます。
2. オンラインでも、事前にサンプルをお届けする、体験型オンライン学習会は、自宅で気軽にできる体験型学習会として推進します。
3. 「オンライン工場見学」※3は、より進化したものとして会員と一緒にブラッシュアップしていきます。
4. コロナ禍の経験を生かし、オンラインが比較的不得手な会員への情報提供、サポートを強化します。

※1：「事例研究」

例) 「堆肥肥料原料」「廃棄物利用」

※2：「ホワイト物流」推進運動

深刻化するトラックドライバー不足に対応し経済活動や国民生活に必要な物流を安定的に確保し経済成長に繋げる事を目的とし、①トラック輸送の生産性の向上・物流の効率化②女性や60代以上の運転者も働きやすい、より「ホワイト」な労働環境の実現に取り組む運動。<https://white-logistics-movement.jp/>

※3：「オンライン工場見学」

オンラインは遠隔地のような距離的ハンデがあるところや、工場内で通常見られない場所でも見学可能なメリットがある。

第4号議案

2022年度(第33期)予算(案)承認の件

パルシステム協力会

自 2022年 5月1日～至 2023年 4月30日

(単位:円)

勘定科目		2021年度実績額	2022年度予算額	増減額	備考
収入	年会費収入	18,150,000	18,150,000	0	正会員・準会員・特別会員※特例半額徴収
	その他会費収入	0	0	0	参加費追加徴収 総会・講演会・賀詞交歓会
	カタログ発送費収入	543,446	2,100,000	1,556,554	※勘定科目追加
	合 計	18,693,446	20,250,000	1,556,554	
支出	委託費	3,960,000	3,960,000	0	事務局業務委託費
	通信費	1,462,364	4,239,000	2,776,636	
	(カタログ発送費)	250,075	2,100,000	1,849,925	紙カタログ発送費・カタログデータ転送費 ※計上方法変更
	(郵便料金)	140	400	260	
	(LAN及び分担費)	138,600	138,600	0	
	(その他通信費)	1,073,549	2,000,000	926,451	HPメンテナンス費用、更新作業サポート費用
	旅費交通費	0	0	0	事務局交通費
	会議費	0	50,000	50,000	幹事会
	調査研究費	365,948	400,000	34,052	コープ手帳購入他
	消耗品費	57,877	100,000	42,123	
	渉外費	44,000	50,000	6,000	慶弔関係費・生花代
	事務所負担費	396,000	396,000	0	半期ごとの支払い
	会計委託費	198,000	198,000	0	半期ごとの支払い
	部会費	2,401,589	3,660,000	1,258,411	
	(組合員交流部会費)	0	60,000	60,000	商品展示会実行委員会運営
	(物流部会費)	1,025,763	900,000	△ 125,763	研修会、セミナー、講演会、歳末強化月間ポスター
	(品質管理部会費)	770,826	900,000	129,174	研修会、学習会(年2回)、品質管理強化月 間ポスター、HACCPリーダー養成講座補助
	(環境部会費)	330,000	900,000	570,000	研修会、講演会、海岸クリーンアップ活動
	(異業種交流部会費)	275,000	900,000	625,000	研修会、学習会、部会運営
	商品展示会費	2,842,794	6,230,000	3,387,206	
	(会員生協補助)	900,000	900,000	0	
	(出展会員補助)	870,000	2,700,000	1,830,000	
	(展示会保険)	90	30,000	29,910	
	(まとめ冊子作成費)	1,072,704	1,000,000	△ 72,704	
	(備品作成費)	0	1,600,000	1,600,000	のほり追加・協力会エプロンクリーニング費用
	総会費	981,416	9,220,000	8,238,584	
	(会場費)	0	8,000,000	8,000,000	含む懇親会費
	(議案書作成費)	917,812	920,000	2,188	紙およびPDF制作
	(その他運営費)	63,604	300,000	236,396	講演料、交流会運営費、プログラム(次第) 作成費他
	秋の講演会費	651,270	8,000,000	7,348,730	会場費、懇親会費等
	賀詞交歓会費	116,232	3,500,000	3,383,768	
	雑費	81,928	100,000	18,072	支払手数料、協賛金等
	予備費	0	5,000,000	5,000,000	
	合 計	13,559,418	45,103,000	31,543,582	
事業剰余金		5,134,028	△ 24,853,000	△ 29,987,028	
雑収入		458	400	△ 58	
当期剰余金		5,134,486	△ 24,852,600	△ 29,987,086	
前期繰越金		25,782,464	30,916,950	5,134,486	
次期繰越金		30,916,950	6,064,350	△ 24,852,600	

【参考】第33期幹事会役員体制

役員改選の時期ではございませんが、パルシステム協力会幹事会役員体制を報告します。

(敬称略)

会 員 名	役 職	氏 名	ふりがな
北海道漁業協同組合連合会	代表理事 専務	安田 昌樹	やすだ まさき
株式会社井ゲタ竹内	常務取締役	竹内 周	たけうち あまね
三菱食品株式会社	執行役員 ライフネット本部 本部長	江橋 邦夫	えばし くにお
株式会社井上食品	代表取締役 社長	井上 文喜	いのうえ ふみよし
酒井産業株式会社	取締役 相談役	酒井 久徳	さかい ひさのり
マルハニチロ株式会社	執行役員 業務用食品ユニット ユニット長	安田 大助	やすだ だいすけ
株式会社カジノヤ	専務取締役	梶 光則	かじ みつのり
株式会社流通サービス	常務取締役	大葉 秀樹	おおば ひでき
国分首都圏株式会社	執行役員第二営業本部 本部長	南 博貴	みなみ ひろたか
株式会社協和	常務取締役	畑山 哲也	はたやま てつや
日本水産株式会社	執行役員 広域営業本部 本部長	松島 和浩	まつしま かずひろ
株式会社ニッキーフーズ	執行役員 商品開発部長	岡本 昭人	おかもと あきひと
SBSゼンツウ株式会社	取締役常務執行役員	村木 佳弘	むらき よしひろ
共生食品株式会社	代表取締役社長	三澤 孝治	みさわ たかはる
JPホームサプライ株式会社	代表取締役社長	松浦 健之	まつうら たけゆき
株式会社タケイ	代表取締役社長	蒔田 雄二	まきた ゆうじ
株式会社水宗園本舗	代表取締役社長	八木 誠	やぎ まこと
平田産業有限会社	取締役副社長	平田 孝一	ひらた こういち
株式会社みそ半	代表取締役	松永 忠徳	まつなが ただのり
有限会社宮醤油店	代表取締役	宮 敬一郎	みや けいいちろう
大洋香料株式会社	代表取締役社長	長谷川 雅人	はせがわ まさと
平田産業有限会社	代表取締役	平田 繁實	ひらた しげみ
株式会社協和	代表取締役	畑山 敏也	はたやま としや

第32期 部会活動報告



商品展示・組合員交流部会



物流部会



品質管理部会



環境部会



異業種交流部会

商品展示・組合員交流部会・活動報告

(商品展示会実行委員会)

メンバー

(敬称略)

部会員(部会長)	マルハニチロ (株)	安田 大助
部会員(副部会長)	(株) カジノヤ	梶 光則
部会員(書記)	マルハニチロ (株)	板垣 秀典
部会員	SBSゼンツウ (株)	岡本 佳徳／飯田 貴浩
	共生食品 (株)	小野寺 和明
	ケンコーマヨネーズ (株)	文平 永行
	国分首都圏 (株)	島田 元気
	JPホームサプライ (株)	宮治 豊
	協同組合 JASMEQ	小野 章男
	大洋香料 (株)	東野 公彦
	(株) 高山 東京支店	味崎 拓郎
	(株) 東京コールドチェーン	新蔵 英仁
	(株) パルシステム電力	喜田 敦
	(株) パルブレッド	平田 耕一／大滝 公華
	ひかり味噌 (株)	中澤 郁光
	ホクレン農業協同組合連合会	篠原 雅則
	三菱食品 (株)	竹田 省一／金子 明雅
	(有) 宮醤油店	宮 敬一郎
	(株) 流通サービス	花井 健太郎
	(株) ロジカル	久保 裕介
オブザーバー	パルシステム福島	沼里 誠紀／阿部 恵子
	パルシステム茨城 栃木	石貝 直人
	パルシステム群馬	小林 祐太／野沢 昌美
	パルシステム埼玉	齋藤 一步
	パルシステム神奈川	池田 欣司／小林 恵子
	パルシステム千葉	熊谷 浩二
	パルシステム静岡	城所 由香利／山本 美加／ 小塚 絵美
	パルシステム山梨	中込 将太／羽田 和彦
	パルシステム新潟ときめき	佐々木 功／五十嵐 大助
	パルシステム連合会	野津 秀男／川村 健一／ 岩瀬 健二／石川 元寿／ 酒井 真澄／玉田 直子／ 吉江 健一／北田 真／ 竹井 篤史／田端 伸行／ 大森 昇／志賀 祐子／ 高橋 拓海

1.活動日誌

月日・場所	内 容
2021年6月17日(木) 2021年度第1回商品展示会 実行委員会開催 (オンラインにて開催) ＜取引先60名(内部会員14名)、 会員生協9名、連合会5名。計74 名参加＞	2021年度第1回商品展示会実行委員会開催 ・2021年度商品展示会開催計画報告(会員生協より)。 参加会員生協、6月現在・下期開催予定(内・2会員リアル開催検討、他会員生協は、 オンラインにて検討するとの報告でした)。 ・商品展示会エントリー状況及び協力会よりお願い。 72取引先エントリー報告・エントリーシートに、展示会提案内容・モデルケースを記 載しています。 ・協力会より、オンライン各社持ち時間を10～15分統一を提案(内容によっては、こ だわらないことを確認しました)。 ・動画撮影、編集サポートについて。今年度は、動画撮影・編集サポートについて、 (株)パルシステムリレーションズを紹介可能です。7月目途に「説明会」を開催の予 定です。
2021年7月21日(水) 「動画制作の方法学習会～企画 から制作まで～」 (オンラインにて開催) 講師:(株)パルシステム・リレ ーションズ プロデューサー 藤井 将(ふじい すずむ)氏 ＜取引先108名、連合会12名、 計120名参加＞	「動画制作の方法学習会～企画から制作まで～」 ・事前にアンケート実施。企画、撮影機材・方法・編集・費用等について要望が多数で した。 動画制作の3つのフロー→撮影、編集、拡散動画編集のソフト→基本構造は同じ→ まずは「習うより慣れる」「好きこそものの…」撮影ツール→特別な機材は不要。マイ クは必須。 動画編集の最重要点→「用途」と「構成」を突き詰める ～誰に対して何を伝えるの か?～ 動画の「構成」→工程、構造、物語(シナリオ)。説明会開催後、取引先よりパルスシ ステムリレーションズに問い合わせがあった。機材、編集方法等についてご相談があ り、動画作成されています。
2021年8月27日(金) 2021年度第2回商品展示会実行 委員会開催 (オンラインにて開催) ＜取引先71名(内部会員18名)、会員 生協11名、連合会5名。計87名参加＞	2021年度第2回商品展示会実行委員会開催 ・2021年度商品展示会開催計画報告(会員生協より)。 10～11月開催予定、群馬・神奈川・山梨・埼玉より内容・具体化された報告がありま した。そのほか会員は下期に向け検討しているとの報告でした。 ・2021年度商品展示会/会員生協担当者会議開催について提案しました。
2021年9月22日(水) 2021年度第1回商品展示会担当 者会議開催 (オンラインにて開催) ＜会員生協10名、連合会3名、 部会員3名。計16名参加＞	2021年度第1回商品展示会担当者会議開催 ・各商品展示会開催概要及び作業進捗について。 運営方法、システム関係、サンプル品手配、商品展示会本番の視聴等について質疑 応答がありました。 Remo、9日間連続開催、サテライト開催については、質問が多数ありました。
2021年11月2日(火) 2021年度第2回商品展示会担当 者会議開催 (オンラインにて開催) ＜会員生協11名、連合会3名、 部会員3名。計17名参加＞	2021年度第2回商品展示会担当者会議開催 ・商品展示会開催済、会員生協より報告。 ・運営方法、システム関係、サンプル品手配、商品展示会本番の視聴等について質疑応 答(各展示会開催内容については、2021年度商品展示会レポートを参照ください)。
2022年3月14日(月) 2021年度第3回商品展示会実行 委員会(総括会議) (オンラインにて開催) ＜取引先45名(内部会員16名)、会員 生協9名、連合会5名。計59名参加＞	2021年度第3回商品展示会実行委員会開催 ・商品展示会開催報告、会員生協より報告。 ・展示会参加取引先報告(事前提出報告書より)。 ・2022年度の開催に向けての課題を各会員生協より報告。

2.2021年度商品展示会開催概要

会員生協名	開催日	開催内容	開催時間
パルシステム 群馬	2021/10/16(土)	・午前の部、オンラインイベントツール【Remo】を使用し、事前の体験会も実施。申込80名、実参加60名。各部屋ごとに、群馬職員がサブとして立会い。好きな取引先との交流が選択できた。部屋参加人数が限られており、ゆっくり取引先と交流ができた。【Remo】は、1部屋人数制限・6名、出入り自由による説明中断、説明方法の工夫などの課題。 ・午後の部ではZoom（ウェビナー）を使用し、参加メーカーからメーカー紹介＆工場や畑からの中継等を視聴。オンラインイベントでは、群馬過去最多、123名組合員参加。	午前の部【10:00～12:00】参加メーカー20社×2時間。各社2時間。 午後の部【13:00～15:00】参加メーカー3社（1社あたり約40分の持ち時間）
パルシステム 神奈川	10/23～24（土・日） 10/25～29（月～金） 10/30～31（土・日）	平和の取り組みと商品展示会をオンラインで合同開催。 ・シナリオ作成、動画撮影、動画編集、運営まで神奈川独自で取り組む。内容は、新入職員の産地探検、おせちレシピ、テーマに沿った講演等バラエティー豊かな内容でした。 ・現代の課題、SDGs、認知症、植樹活動、再生可能エネルギー等をテーマにした企画。 ・Zoomウェビナー・3,000名規模で準備。ウェビナー・アクセス数80前後。YouTube配信は、140～200前後の結果。事前広報、告知方法等に工夫が必要であった。	10/23・10/24、10/30、10/31については、各社3～10分を予定。 10/25～10/29・4社は、各社約10分。 CMは、3～5分弱のパルシステム商品動画をアップ。ホームページでも掲載。
パルシステム 山梨	2021/10/30（土） 12/3（金） 2022/2/23（水・祝）	・10/30は、「オンライン工場見学」をテーマに、2社を紹介。 ・12/3は、日用品にスポットをあて、「メイク術」、「おいしい珈琲の淹れ方」を開催。 ・参加者は、50名前後で、ビデオONにして、顔の見える交流を実施。 ・2月開催では、生産者交流・オーストラリア・カンガルー島との交流。 ・サテライト（分散・衛星）の交流も検討し、全組合員が参加できる方法も実施。	【13:30～15:30】1社当り、約1時間（交流含む）。
パルシステム 埼玉	2021/11/23（火・祝）	オンライン商品展示会開催（浦和・ぱる★てらすより配信）。午前10:00～14:00。 出展・9社。各社持ち時間45分。事前サンプル配付等も実施。 ・参加者（MAX50名）にサンプル配付。パルシステム埼玉本部に、取引先よりサンプル納品。埼玉本部より、参加者組合員へ配付。 ・学習会ではなく、組合員との交流を中心に、商品のこだわりや使い方、アレンジ等を実施。組合員は最大3回参加可能。 ・12月2回・3回別チラシにて商品展示会記念チラシを配付。出展以外の取引先も取り上げ、組合員への商品普及を実施。	【10:00～14:00】1社当り、約45分（交流含む）。 3つのコース、各3社ずつ配信。
パルシステム 静岡	2022年2月2回	・2022年2月2回企画、「おうちでつながる商品展示会 in しずおか」別チラシを配付。 ・該当企画回・本誌取り上げ9取引先・11商品を選定。商品別に動画配信、交流を実施。 ・商品モニターチーム・試食アンケートを取り上げ。メッセージ投稿の受付、参加者ポイント付与、抽選で「つむぐ商品」のプレゼントを行った。 ・オンライン交流は、「一番搾り菜種油」と「ATJ・ペルー珈琲」にて実施。	・別チラシ。二次元コードより、商品動画視聴。 ・交流企画は、2/16、2/25、各10:00～11:30にて実施。

会員生協名	開催日	開催内容	開催時間
パルシステム 新潟ときめき	2022年2月1回 ～4回	・2月1回よりSNSで告知。2/7～2/11配付機関紙ときめき通信にてURL案内。抽選で、300名に試食品セット、2月4回企画にてプレゼントを実施。 ・12月募集「イチオシ商品」から、試食品セット「朝食セット・3品」「おやつセット・2品」「夕食セット3品」、3種のセットアイテム。各セット約20分前後の動画で行った。 ・2022/1/14に動画取材等終了。2022年1月 下旬には募集チラシ配付、本番URL確定。	・動画編集は、新潟にて実施。 ・試食品セット、お届けも新潟にて。
パルシステム 茨城 栃木	2022/2/12(土)	「Zoomで!工場探検隊」として、オンライン商品展示会開催。 ・「茨城栃木」の機関誌等で参加者を募集。 ・2社 (①パルミート、②協同水産流通) の取り上げ。 ・製造現場を動画で配信。質疑応答等を行う。 ・クイズの出題、および組合員からの質問に答えていくスタイル。抽選で、プレゼントも企画。	【10:30～12:00】 1社当り、約45分 (交流含む)。
パルシステム 福島	2022/2/19(土)	・3部構成。1部・ヤムヤム世代向け・3社、2部・コトコト世代向け・3社、3部・きなり世代向け・3社。部の間に紹介動画配信。クイズ回答、プレゼント告知も実施。 ・参加取引先9社ごとにクイズ出題。全問正解、豪華プレゼント(5,000円相当お楽しみBOX)。 ・1問正解でも、記念品を贈呈。豪華全問正解プレゼントに対する反響は大きかった。	・午前10:00～13:00 ・3部世代別構成にて検討。
パルシステム 千葉	2022/2/19(土)	参加者目標・200名。Zoomウェビナー・ミーティングを使用。 ・9社 (ミーティングタイプ・3社・サンプル事前送付・双方向の交流。定員30名)。 ・「食べて、使って納得! プログラム」、参加者に事前サンプル配付の上、メイクや試食を同時に行いながら、交流を実施。 ・ウェビナータイプ (リレートーク方式) 6社、視聴後・サンプル抽選プレゼント・定員500名。	・午前10:00～15:30 ・2タイプの構成。各社・持ち時間30分。 ・双方向交流形式、リレートーク方式。

3. まとめ 《2021年度活動報告》

【活動報告】

今期は皆様の協力のもと、2年ぶりに全ての会員生協にて展示会を開催することができました。新型コロナウイルスの影響でいずれもオンラインでの開催となり、組合員との直接の交流はかないませんでしたが、各会員生協とも様々なアイデアで対応しました。

参加いただいた皆様に、作り手の思いや商品の物語が伝わる展示会を展開できたのではないかと思います。

【今後の課題と展望】

今期、本格的に取り組んだオンラインでの展示会開催経験は非常に貴重なものとなりました。次年度はリアルでの開催に向けて準備をしておりますが、会場に来られない方にもオンラインで参加していただくハイブリッド型も検討しております。こちらは、展示会に参加いただく組合員の幅が広がり、今後に向けて大きな可能性を持っていると思います。

また、商品展示・組合員交流部会としては、展示会に特化するだけでなく、組合員向け学習会のオンライン開催など取り組みを広げていく所存です。

物流部会・活動報告

メンバー

(敬称略)

部会長	(株) 流通サービス	大葉 秀樹
副部会長	国分首都圏 (株)	南 博貴
	(株) 協和	畑山 哲也
書記	(株) 流通サービス	花井 健太郎
部会員	SBSゼンツウ (株)	岡本 佳徳
		飯田 貴浩
	(株) かがやくコスメ	長田 浩二
	協同水産流通 (株)	金子 郁史
		下青木 浩史
	(株) 三協運輸サービス	井出 恵一
	スワ運輸 (株)	小山 実
	全農パールライス (株)	坂部 康洋
	(株) 高商	宇山 祐矢
	(株) トクスイコーポレーション	佐々木 孝夫
	(株) パルライン	桑原 修
		清水 友徳
	マルハニチロ (株)	谷内 勉
	(株) ロジカル	久保 裕介
	(株) カワタキコーポレーション	大槻 雅人
オブザーバー	パルシステム連合会	茂木 洋介
		山岸 誠一郎
		阿蘇 秀之

1.活動日誌

月日・場所	内 容
2021年5月17日 (月) 第32期・第1回物流部会 (リモート会議) 部会員16名、連合会6名出席	第32期物流部会活動計画 ・物流セミナー（講演会）開催頻度：年2回（9月・3月）。 ・歳末物流強化月間取組み、ポスター作製。 ・物流の脱炭素化・低炭素化への取り組み。 ・オンラインを活用したパルスシステム物流施設等勉強会。 物流部報告 ・受注状況及び今後の施策（オリンピック対応含め）報告がありました。
2021年7月15日 (木) 第32期・第2回物流部会 (リモート会議) 部会員15名、連合会5名出席	歳末物流強化月間取組み/ポスター制作について ・期間、2021年11月1日 (月) ～12月31日 (金) 次回部会にて、ポスター案協議することで確認。 物流部報告 ・オリ・パラ対応について、詳細な報告がありました。
2021年9月7日 (火) 第32期・第3回物流部会 (リモート会議) 部会員14名、連合会6名出席	歳末物流強化月間ポスターについて ・「環境対応」「パルスシステムの物流」「男性の写真画像」を盛り込んで、物流ポスター制作を確認しました。 2021年度上期物流部会講演会について ・日時：2021年9月28日 (火) 13:00～15:30 ・第1部「脱炭素・環境問題」。専門家をお願いする。 ・第2部「パルスシステムの物流改革」連合会・物流部。
2021年9月28日 (火) 13:00～15:30 2021年度上期物流部会講演会 オンラインにて開催。 130名、参加アクセス (内生消協会員・4名)	第1部「脱炭素社会への動きと物流分野の対応～ロジスティクス2030～」 講師：公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会理事 JILS総合研究所 所長 北条 英氏 ロジスティクスは企業内の諸活動を統合するものであり、戦略的な経営管理である事、また、脱炭素社会への動きについても、今後の我が国の物流課題等を含めた多岐にわたる説明があり、好評でした。 第2部「パルスシステムの物流改革」 講師：パルスシステム連合会物流部部长 茂木 洋介氏 生鮮物流再編による具体的な成果や、ドライ物流再編の効果、また、SDGs達成に向けた物流の取り組みについて報告がありました。
2021年11月10日 (水) 第32期・第4回物流部会 (リモート会議) 部会員17名、連合会4名出席	2021年度下期物流部会講演会について ・物流に関連した内容にするのが良い。 ・パルスシステム関連の物流の講演は継続すべき。 ・次回部会にて詳細決定することを確認しました。
2021年11/1 (月) ～12/31(金) 歳末物流強化月間	・歳末物流強化月間ポスター配付。 ・配布会員数315会員、会員生協センター62。1,901枚配付(ポスター画像P24参照)。
2022年1月18日 (火) 第32期・第5回物流部会 (リモート会議) 部会員16名、連合会5名出席、 アンケート回答:98社	歳末物流強化月間ポスターアンケート 最近、毎年ポスターの構成を変えているので、新鮮さが良いとの評価でした。 2021年度(第32期) 下期物流部会講演会について ・日時：2022年3月9日 (水) 14:00～16:30 ・第一部 (90分)：テーマ 「アフターCOP26の脱炭素／物流SDGsとDX展望～中小企業の実例を交えて～」 専門家に依頼。 ・第二部：パルスシステム物流部報告 ・2022年度物流部会開催。6回/年→5回/年に変更。 所要時間60分→90分に変更の予定です。

月日・場所	内 容
2022年3月9日(水) 2021年度下期物流部会講演会 オンラインにて開催。 92名、参加アクセス (内生消協会員・2名)	第1部「アフターCOP26の脱炭素／物流SDGsとDX展望～中小企業の実例を交えて～」 講師：L-Tech Lab (エルテックラボ) 代表 菊田一郎氏 第2部「パルシステムの物流改革～進捗と次年度計画～」 講師：パルシステム連合会物流部部長 茂木 洋介氏 「他の企業では色々な取り組みをしていることなども知れて勉強になった。」 「DXの目的を再認識することができた。」「パルシステムの物流計画を知る貴重な機会になった。」等感想が寄せられました。
2022年3月18日(金) 第32期・第6回物流部会 (リモート会議) 部会員18名、連合会4名出席	・脱炭素社会に向けてというテーマで、1社ずつ取り組み事例や検討内容等を発表することとなりました。 - 第1回目、「環境への取り組み」、SBSゼンツウより報告。 ・今後の活動計画、リアル取り組みも検討。 ・「総会」に向け、臨時総会(書面議決)、22年度・年会費・半額、33回総会は、リアルも視野に入れた、「ハイブリッド開催」旨等、大葉部会長より説明がありました。



2021年度歳末物流強化月間ポスター

2.まとめ 《2021年度活動報告》

【活動報告】

2021年度、物流部会は、「産直」と「環境」のパルシステムとして「選ぶで変わる『ほんもの実感!』くらしづくりアクション」を推進し活動を進めました。

しかし、昨年同様に新型コロナウイルスの影響が続き、活動が制限される中でも新たな部会活動の形を作ることができました。

まん延防止等重点措置や感染拡大の影響を受けて、宅配事業は引き続き需要が高まり物流現場は混乱した部分が多くありました。セットセンターをはじめ生活物流部門では物量増加の対応やメーカー・ベンダーでは商品調達など課題が多かったと伺っています。

しかし各セクションにおいては物流を通して組合員様に安心・安全をお届けするということへの喜びを感じることができた1年となりました。

部会活動としましては6回の部会開催をリモートで開催いたしました。

今年度は年2回のオンラインでの講演会を開催することができ、コロナ禍における新たな講演会の形を作ることができました。講演内容については脱炭素社会の実現に向けた物流についてと物流SDGsに関する講演となりました。とりわけ環境問題については喫緊の課題となり物流部会としても継続して取り組む必要性を確認する良い機会となりました。また、2回の講演会の両日ともに第2部として物流部茂木部長様にパルシステムの物流についてご講演いただきました。現在のパルシステム様の考えていることや進めていることが理解できる機会となり、参加いただいた会員の皆様より大変好評をいただきました。

また、例年同様ではありますが、歳末物流強化月間として物流事故ゼロ・納品事故ゼロを掲げて、コロナ禍という特異な状況の中、取り組むことができました。

【今後の課題と展望】

物流業界のみならず、社会全体でも未だ新型コロナウイルスの猛威が、社会全体に大きな影響を及ぼし、経済活動に様々な影響が出ております。また原油高騰を受けて燃料費の高騰が物流部門においては大きな課題となります。直近では食料品においても値上げが続いており、消費の冷え込みや組合員様の買い控えに繋がる懸念があります。

そんな状況ではありますが、パルシステム様が進める「もっと良い明日へ超えてく」をテーマに物流部会においても課題解決ができるように取り組んで参ります。

社会環境の変化に対応するためにも「ホワイト物流推進運動」への理解を深めて参加の呼びかけを進めていきます。

まだまだ先行きは不透明な状況ではありますが、物流部会として、組合員様に安心してご利用いただき、安心安全を表示の通り適切にお届けするために、本年度も活動を強化して参ります。

品質管理部会・活動報告

メンバー

(敬称略)

部会員 (部会長)	日本水産株式会社	松島 和浩
部会員 (副部会長)	(株) ニッキーフーズ	岡本 昭人
	水野食品 (株)	水野 茂
部会員 (書記)	三菱食品 (株)	竹田 省一
部会員	アートプランニング (株)	太田 祐次
	エム・シーシー食品 (株)	生井 拓
	(株) カジノヤ	海老原 淳
	(有) 菊水堂	土谷 淳
	共生食品 (株)	小谷 正史
	(株) 協和	梅田 靖彦
	協同組合 JASMEQ	小野 章男
	シンコー食品 (株)	宮下 富幸
部会員 (ポスター制作リーダー)	全農パールライス (株)	西野入 英幸
部会員	大洋香料 (株)	長谷川 雅人
	(株) タケイ	石原 隆弘
	デイリーフーズ東京販売 (株)	萬井 誠
	(株) 東京コールドチェーン	末吉 太一
	(株) ニッキーフーズ	田中 紀年
	(株) ニチレイフーズ	岩本 亜希子
	(株) にんべんフーズ	浅原 真
	(株) 浜食	田中 浩一
	(株) パルブレッド	矢島 規雄
部会員 (学習会リーダー)	(株) パル・ミート	大武 徹
部会員	(株) ファーストフーズ	芳賀 隆次
	北海道漁業協同組合連合会	山野寺 健一
	(株) ユニマツトキャラバン	瀬沼 淳一
オブザーバー	日本水産 (株)	山口 聡
	パルシステム連合会	藤方 正浩

1.活動日誌

月日・場所	内 容
2021年5月27日 (木) 第32期・第1回品質管理部会 (リモート会議) 部会員19名、連合会5名出席。	・2021年度品質管理強化月間ポスターについて ポスターの発送は6月7日(月)の週の予定です。 ・第32期(2021年度)品質管理部会活動計画 ①品質管理強化月間ポスター制作/配付【ポスター制作チーム】 ②品質管理学習会/年2回(8月・3月)開催【学習会チーム】※3月は「ゲノム編集食品に関する講演会」を開催する継続的な学習が必要。 ③検査センターオンライン見学会【研修会チーム】 ④オンライン研修会【研修会チーム】 ・品質保証部報告。コロナ禍、申告件数減少傾向。
2021年7/1(木)～8/31(火) 品質管理強化月間	品質管理強化月間(新型コロナ対策手洗い)ポスター配付(P29画像参照)。 ・2021年7月～8月に実施。 ・ポスターを作成し会員へ配付しました。 配布会員数241会員、約1,080枚。
2021年8月27日(金) 第32期・第2回品質管理部会 (リモート会議) 部会員23名、連合会4名出席。	・2021年度上期品質管理学習会について 9/24予定、内容は元保健所担当者による実践的なもの(第1部)、商品事故削減取り組み(三菱食品) ・第1回生消協・協力会連携会議 報告。 相互の意見交換では、生消協側から「ここまでメーカーが行っているのは知らなかった。この事例を模範として連携を進めたい」との感想が聞かれました。今後の継続に向けて、双方が計画している学習会、講演会への参加案内を行うことや、これ以外に一緒になってシンポジウム等を行う提案がありました。 ・品質保証部報告 コロナ禍供給量増加に対し、商品事故申告件数は減少傾向。夏休みオンライン親子科学実験教室の報告。
2021年9月24日(金) 「2021年度上期オンライン品質管理学習会」開催。 (連合会品質保証部共催) (オンライン・Zoom使用) 141名、参加アクセス(内生消協会員・5名)。	第1部「食品衛生法改正とHACCP制度化～保健所の現場から見た食品衛生」 ・講師:元東京都中央区保健所・食品衛生監視員・食品衛生アドバイザー 小暮 実氏 テーマ全体像、保健所の現場からの視点でのわかりやすい解説が好評でした。 第2部「商品事故削減の取り組み実践報告～パルシステム連合会品質管理1課と共に～」 ・講師:三菱食品株式会社ライフネット本部戦略オフィス仕様書管理ユニット 中村 一成氏 ・コロナ禍において工場衛生管理指導をリモートで指示されている現状等参考になりました。
2021年10月7日(木) 第32期・第3回品質管理部会 (リモート会議) 部会員20名、連合会3名出席。	・上期学習会感想、1部、2部ともに、実務に参考となる内容でしたとの意見が多数でした。 ・2022年度品質管理強化月間ポスターについて。例年通り制作、内容は次回部会までに決定の予定。 ・2021年度HACCPリーダー養成講座。2/23～25にて開催予定です。 ・品質保証部報告。商品事故、工場点検報告がありました。

月日・場所	内 容
2021年11月16日 (火) 第32期・第4回品質管理部会 (リモート会議) 部会員15名、連合会4名出席。	組合員向け商品学習会/サンプル品事故発生について 品質に伴う内容であることから、品質管理部会で協議し文書を作成、部会長名で協力会会員へ周知徹底を図ることとする。 ・2021年度下期品質管理学習会について 第一部：「FCPについて」 ・講師候補：①農水省関係者②はくばく。 第二部：品質保証部からの報告 FCP（フード・コミュニケーション・プロジェクト）とは https://www.maff.go.jp/j/shokusan/fcp/whats_fcp/ 事務局にて、講師対応、準備。 ・2022年度品質管理強化月間ポスター 5Sと事故防止いずれかで、ポスターチームが担当。
2022年1月14日 (金) 第32期・第5回品質管理部会 (リモート会議) 部会員21名、連合会4名出席。	・2022年度品質管理強化月間ポスター 7Sをテーマとしたポスターを2案作成。部会メンバーアンケート実施、次回部会にてデザインを決定します。 ・2021年度下期品質管理学習会について FCPについては、講師選定が難しく、食品衛生管理全般についてのテーマとすることに決定しました。 2022年3月22日（火）に開催予定。 ・2022年度品質管理部会開催日程について。 年間の開催回数を6回→5回に、時間を60分→90分に変更の予定です。 ・品質保証部報告 パルシステム商品の品質方針（仮）策定に向けて、タスクを設置し検討開始報告がありました。
2022年2月23日 (水)～25日 (金) オンラインHACCP・3日間講習開催。 (主催：JASMEQ) (後援：協力会品質管理部会) 10社・10名参加。	2021年HACCPリーダー養成講座開催 ・3日間にわたり講義・オリエンテーション・演習・指導を実施しました。 講師：加藤光夫氏、中川 弘氏、小谷 正史氏 ※報告は31～33ページ実施報告参照。
2022年3月22日 (火) 「2021年度下期オンライン品質管理学習会」開催。 (連合会品質保証部共催) (オンライン・Zoom使用) 参加アクセス125名。	第1部：「食品工場における衛生安全管理点検のポイント」 講師：株式会社フーズデザイン代表 加藤 光夫氏 50のチェックポイントについて、判りやすく詳細な説明があり、実践的な学習会でした。 第2部：「お料理セットチームの取り組み」 講師：パルシステム品質管理1課 林 雅也氏 「お料理セット」改善の取り組みについて、取引先との意識改革、意識共有、共に考えながら取り組みの事例を紹介しました。
2022年3月22日 (火) 第32期・第6回品質管理部会 (リモート会議) 部会員25名、連合会4名出席	・2022年度、「品質管理強化月間ポスター」は、7Sをベースにした案で決定しました。 ・2022年度・活動計画。リアル研修会を検討したい。 部会は、5回／年、時間は、60→90分に変更。 ・品質保証部報告。 商品事故申告数は引き続き減少傾向。 品質保証部として、お取引先向けの説明会の開催を計画（5月中旬予定）。

2.まとめ 《2021年度活動報告》

【活動報告】

2021年度はコロナ禍が2年目に入り部会の活動が制限されてしまい、活動計画を多く実施することができませんでした。しかし、品質管理強化月間ポスターを作成し（ポスターのテーマは新型コロナ対策手洗い）予定通り配付できたことは大きな意味があると思っています。この間、品質管理月間ポスターは、「異物混入防止」・「アレルゲンの怖さを知っていますか」等のテーマで作成してきました。この活動は品質管理部会において、重要な活動と認識しております。

また、当部会の学習会チームにおいて2回の学習会を開催することができました。1回目の開催のテーマは「保健所の現場から見た食品衛生」で元食品衛生監視員の小暮実さんに講演していただきました。2回目は「食品工場における衛生安全管理点検ポイント」のテーマで（株）フーズデザインの加藤光夫さんに講演してもらいました。2回の講演とも非常に判りやすく実践的な講演をしていただきました。

しかしながら、やはりコロナ禍の中で部会の研修会は実施できませんでした。2022年度は、ぜひとも研修会を実施し、活発に活動していきたいと思っています。

【今後の課題と展望】

2022年度は、5月27日を初回に年5回の品質管理部会を予定しております。まだまだ先行きは不透明な状況ではありますが、例年のポスター配付、年2回の学習会の実施、また状況を確認しながら研修会も実施したいと思っています。2022年度ポスターのテーマは基本に戻り、食品衛生7S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ・洗淨・殺菌）を再度認識するためにこのテーマに決めました。組合員様に安心して製品を購入していただくために活動して参ります。



2021年度
品質管理強化月間ポスター（食品衛生7S活動）

1. 品質保証部 2021年度活動報告

新型コロナ禍がつづく中で、パルシステムの商品利用は好調に推移しましたが、商品事故は2021年4月～2022年4月の申告件数で食品4,350件（前年差△492件、前年比89.8%）と昨年より大幅に減少しました。製造先、取引先と連携しながらの品質管理向上の取り組みが進んだものと考えます。生活用品も694件（前年差△82件、前年比89.4%）と、大きく事故を減らすことができ、初めて700件を下回りました。

- (1) 2021年度はPB商品製造先の工場点検を重視しましたが、コロナ影響が続き、当初計画には届かず年間87工場の点検にとどまりました。商品事故の緊急対応や新規工場の製造確認等、優先順位をつけて実施しました。またPB商品製造先への事前アンケートにそって、実地点検が難しいところには製造工場調査票や帳票による確認による点検を実施しました。お取引先と連携しての事故削減会と取り組みを行うことで、問題点や課題の共有を図って改善対策が進みました。
- (2) 業務品質向上の一環として、商品事故申告への回答日数の短縮に取り組み、前年よりも平均1.4日短縮することができました。取引先、製造先への事故現品送付運用の改善などを行いました。
- (3) 仕様書作成件数は、新規商品開発が減少したことなどにより2,188件 前年比86.5%となりました。原料原産地表示への対応を進め、新たな遺伝子組換え表示制度にむけた準備、仕様書の電子化に向けた検討等を関係各所と進めました。
- (4) 2021年度は、微生物検査6,538件、残留薬剤検査344件、放射能検査2,264件、食物アレルギー検査420件を実施しました。
- (5) 商品検査センター（パルあんしん館）では、組合員の見学受入れは今年度も行いませんでしたが、新しい広報活動として、夏休み親子科学実験教室をオンライン企画で開催しました。会員生協進行のもと、商品検査センター職員が講師となり、7生協129組の組合員が参加しました。

2. 2022年度活動方針

1. 組合員の思いにこたえる品質保証を向上していくため、品質方針の策定と品質管理体制強化を進めます。取引先等関係各所との連携・協働によってパルシステムの品質保証の総合力を高めます。
2. 産直原料や非遺伝子組換え原料管理の強化として、管理フローを構築し体制整備も進めます。
3. 商品事故の抑制及び対応力強化を目的として、商品事故や商品検査データを分析し、予兆を早期に発見する体制を整備し、品質管理レベル向上につなげます。また、品温管理や検品体制強化により、青果、米の商品事故抑制を図ります。
4. PB商品中心に計画的な工場点検を進め、製造委託先の品質管理向上をサポートします。お取引先による製造元の品質管理体制の強化を図ります。
5. 表示等にかかわる法令を遵守するとともに、パルシステム自主基準の周知理解を進め、仕様書管理レベルを向上します。また新たな仕様書管理システムの開発を進め、業務合理化及び情報管理レベル向上、紙資源の削減も図ります。
6. パルシステムの品質保証を担う人材の育成のため、関係各所と連携した取り組みを進めます。

3. 2022年4月からの品質保証部体制について

品質保証部 …… 藤方 正浩
 品質管理1課 …… 宮原 雅仁
 品質管理2課 …… 竹井 篤史
 品質管理3課 …… 白澤 裕亮

仕様書管理課 …… 相原 正和
 商品検査センター …… 寺田 豊

青果・米の申告対応・品質管理を担当

2022年 2月 23日・24日・25日 「HACCPリーダー養成講座(3日間)」実施報告

協同組合JASMEQ
作成:顧問 監物 今朝雄

パルシステム協力会品質管理部会の協賛・支援をいただき実施しました「HACCPリーダー養成講座(3日間)」に、10社10名の応募参加をいただきました。

昨年度に続き、コロナ禍の状況も考えて、Webセミナーとして計画準備をさせていただきました。

今期は、コロナの第6波といわれる時期と重なり、聞き及ぶところでは、工場現場での「自宅待機者による人員不足」への心配等があり、参加者が例年と比べて少ないなかでの開催となりましたが、不安ななか調整いただき参加していただいた皆様には感謝しております。

同時に、「食品衛生法」改正(営業許可のHACCP制度化)に伴って、ますます必要性が増すことが考えられる研修会となりました。今後も皆様の期待に応えられる内容にできるよう、責任講師の加藤光夫先生((株)フーズデザイン)始め、各講師ともども努力してまいります。

以下に、実施内容を報告させていただきます。

また、昨年度からは食品衛生法の改正により、これまで修了証で「総合衛生管理製造過程承認制度」への該当内容修了者で有ることの内容を、「食品衛生法施行規則別表17・別表18で求められる知識」の習得者と、修正させていただいています。また、JFS等の「外部認証」の動きや、コーデックスの2020版への移行もあり、昨年度の内容に加えて、ISO22000、FSSCのマネージメントシステムについての概要についても加えた内容にさせていただきましたので、その点で時間配分等で参加者に負担をかけるスケジュールとなった点につきましては、今後の課題とさせていただきます。

次年度(2023年)の開催については、修了アンケートのご意見を参考にして、実践に役立つ内容に努めてまいります。

2022年 2月「HACCPリーダー養成講座(3日間)」実施報告

- 1 実施日 2022年2月23日(水)・24日(木)・25日(金)
- 2 実施場所 Webセミナー
- 3 参加者内訳(10社10名)
 - <担当部門>品質管理部門5名、製造・工場部門3名、商品・営業2名
 - <業 種>食肉加工製造2名、冷凍菓子・農産加工食品3名、
ノンカップ乾麺・食用油脂・ポテトチップス・納豆・乾海苔製造各1名

HACCPリーダー養成講座実施スケジュール

日	時間・内容	担当講師等
2/23 (水) 1日目	13:00~13:15 オリエンテーション	事務局
	13:15~16:25 講義(加藤先生の動画による) (約1時間毎に10分の休憩) 後半で事例動画「誰でもできるHACCP実践教室」	加藤 光夫講師
	16:25~16:35 (休憩)	
	16:35~16:40 演習オリエンテーション 16:40~17:30 (事務局JASMEQオンライン待機時間) 演習:「理解内容確認レポート」と「衛生区画とゾーニング平面図」及び時間がありましたら「フローダイアグラム」(製造工程図)を作成。 翌日10時までに事務局(JASMEQ)まで送付。 加藤先生に2日目の冒頭で講評いただきます。	事務局

日	時間・内容	担当講師等
2/24 (木) 2日目	13:00～13:20 2日目オリエンテーションと1日目の演習についての講評	加藤 光夫講師
	13:20～17:20 講義(動画等で約1時間毎に5分～10分の休憩) HACCP12手順7原則について製品別事例紹介 後半約50分 ISO22000、FSSCについて解説	加藤 光夫講師
	17:20～17:25 演習オリエンテーション 17:30(事務局JASMEQオンライン待機時間) 演習:「製品説明書」「フローダイアグラム」と「危害分析管理総括表」作成 「製品説明書」「フローダイアグラム」(必須)と「総括表」のできたところまでを、翌日11時まで事務局(JASMEQ)に送付。加藤先生に明日講評いただきます。	事務局
2/25 (金) 3日目	13:00～13:05 オリエンテーション	事務局
	13:05～15:00 「食品製造における微生物管理とは」	中川 弘講師
	15:00～15:15 前日の演習についての講評	加藤 光夫講師
	15:15～15:25 休憩(共有変更) 15:25～16:30 「食品工場の現場からレベルアップHACCP活動」	小谷 正史講師
	16:30～17:00 参加者自己紹介と感想 演習課題「フローダイアグラム」と「危害分析管理総括表」の作成。 時間が出来たら「衛生管理チェック表」に挑戦。 また、一日目に演習の「衛生区画とゾーニング平面図」を見直。 16:10～17:00(事務局JASMEQオンライン待機時間)	事務局
3日目 (及び以降)	演習作業結果については、「衛生区画とゾーニング平面図」「製品説明書」「フローダイアグラム」と「危害分析管理総括表」(以上4点は必須) 週明け3月3日(木)中までに、JASMEQ事務局まで送付。 後日(3月末日までに)、修了証と、アドバイス評価を付けて返送。	事務局

「HACCPリーダー養成講座(2022・2/23～25)」修了アンケート集約

1 この度のセミナーに参加された経緯(いきさつ)はどのようなでしたか?

社長・役員(3)、品質管理部署(3)、工場長または製造部署(2)、
自分から申し出て参加した(1)取引先・商社のすすめ(1)

2 Webでの講習になりましたが、「リアル」講習と比較していかがでしたでしょうか?
○をお願いします。

イ 参加しやすかった(9) □ 参加に躊躇したところがあった(1)

3 講義、研修でよく理解できなかったことや、もう少し詳しく知りたいことはありますか?

- ① 各書式、構造は様々なので、自社の書式の見直しを学んでゆきたい。
- ② OPRP、PRP、CCPIについて、製造品毎の管理点を学び、これまでの理解は少し違うのではないと思った。
- ③ 一般的衛生管理とHACCPの関係についてもう少し詳しく知りたいと思った。
- ④ 監査に行く際に見るところ、チェック箇所、質問例をもう少し詳しく知りたいです。
- ⑤ 衛生区画間の動線管理の実例について写真等でもっと知りたかった。

- ⑥ 清潔区内でも、冷蔵庫や冷凍庫が汚染区となるのかが良く理解できなかった。
- ⑦ 工程動線は理解できたが、人の動線についてはあまり理解できなかった。
- ⑧ 汚染区清潔区は区別がつくが、準清潔区の分類(必要性和違い)が難しかった。
- ⑨ 国際規格(ISO、FSSC等)について(さらに)知りたかった。
- ⑩ 自社製品についての具体的なPRPやHACCPの取り組みについて知りたかった。

4 その他、研修の内容や進め方、研修の進行等について、改善すべきこと、良かったこと、気がつかったことがありましたらお知らせください。

◆良かった点

- ① 様々な工場の事例、取り組みが紹介されていたこと。(2)
(もっと詳しく見てみたかったとのご意見もあり)
- ② 休憩時間が円グラフで分かりやすかった。(2)
- ③ 小谷講師の体験談は共感できることもあり、貴重な時間でした。(3)
- ④ 微生物検査の品質管理における重要性と知識を広げさせていただきました。

◆改善点

- ① ビフォー&アフターの改善事例で改善前も見なかった。
- ② 画面の周りに「黒縁状」のものが出てしまい、全画面拡大ができなかった。
- ③ 演習が講義終了後の自習となっていたが、講演途中に入れていただいた方が、理解度が増すと思った。
- ④ 資料に、單元ごとの目次があれば体系的に学習できると思った。

5 御社・工場において品質マネジメントシステムの認証取得ないしは構築取組をされていますか？

・ISO22000(1) ・FSSC ・都道府県HACCP(2)・JFS-B規格(1)
業界団体HACCP=大日本水産会・AIB・JASMEQ認証等(2) その他(4:自主構築含む)

6 現在、JASMEQでもWebセミナーを開催していますが、食品製造及び安全管理(法改訂も含む)セミナーや研修についてのご希望がありましたらお知らせください。参考にさせていただきます。

- ① 従業員へのアプローチや教育等
- ② Web型講習会は今後も取り組んでゆきたいと思います。

ご協力ありがとうございました。

以上。

環境部会・活動報告

メンバー

(敬称略)

部会員 (部会長)	SBSゼンツウ (株)	村木 佳弘
部会員 (副部会長)	共生食品 (株)	三澤 孝治
	JPホームサプライ (株)	松浦 健之
部会員 (書記)	(有) 清和商会	武井 康公
部会員	エスケー石鹸 (株)	滝沢 優
	SBSゼンツウ (株)	佐藤 英司
	エム・シーシー食品 (株)	栗山 珠梨
	協同水産流通 (株)	金子 郁史
	(株) 協立	坂本 訓一
	(株) 十文字チキンカンパニー	古舘 裕樹
	全国漁業協同組合連合会	渡邊 淳一
	太陽油脂 (株)	松山 浩之
	テーブルランド (株)	鈴木 洋一
	(株) パシフィック・トレード・ジャパン	田代 彰
	花嫁わた (株)	吉村 祐介
	(株) パルシステム電力	木内 健太
	グリーンリーフ (株)	田頭 登紀
	日野出 (株)	川崎 宏太郎
	北海道漁業協同組合連合会	瀧波 憲二
		山野寺 健一
	丸紅食料 (株)	安藤 知子
	(株) みそ半	松永 泰裕
	(株) YUIDEA	渡辺 隆文
	雪印メグミルク (株)	池田 麗光
	リスパック (株)	山田 裕子
オブザーバー	パルシステム連合会	野津 秀男
		志賀 祐子

1.活動日誌

月日・場所	内 容
2021年5月24日 (月) 第32期第1回環境部会 (リモート会議) 部会員24名、連合会4名出席	第32期 (2021年度) 環境部会活動計画 (案) SDGs内部勉強会をスタートすることを決定。 海岸クリーンアップ活動の再開 (状況見ながら) オンライン見学会 (リアル研修会の代替え) 環境部会講演会の開催。 プラ削減PJ実践報告会 (連合会主催、協会会支援/協力) の開催。
2021年7月13日 (火) 第32期第2回環境部会 (リモート会議) 部会員22名、連合会2名出席	第1回・SDGs環境部会内部学習会 ゼンツウ (株) より、自社取り組みについての報告。 コンパス (行動指針)、普及啓蒙・社内勉強会、継続的取り組み ①エコドライブ活動、 ②運輸安全マネジメント、③障がい者・外国人労働者雇用促進、④環境配慮型車両導入 等の詳細な報告がありました。 ・連合会・人事異動報告がありました。
2021年9月14日 (火) 第32期第3回環境部会 (リモート会議) 部会員25名、連合会3名出席	第2回・SDGs環境部会内部学習会 共生食品 (株) より発表及び質疑応答がありました。 豆腐容器プラ削減取り組み、社内での取り組み、相模原市とのSDGs取り組み等の報告 がありました。 ・2021年度 (第32期) 環境部会講演会 開催時期は2022年2月～3月目途。 ・(第32期) 環境部会オンライン研修会は、原案検討。 ・環境活動推進室報告。「環境政策。エネルギー政策の改定」「組合員向け企画の開 催」「プラスチック対応」「リユース、リサイクルの推進」等について報告がありました。
2021年11月18日 (木) 第32期第4回環境部会 (リモート会議) 部会員25名、連合会3名出席	第3回・SDGs環境部会内部学習会 ・(株) JPホームサプライより報告、質疑応答。 リサイクルペーパーの現状、トイレトレーラー (移動式) 等ユニークな提案がありました。 ・2021年度 (第32期) 環境部会講演会 2022年2～3月、「SDGsの基本」テーマについて。 ・オンライン研修会 2022年2～3月、「太陽油脂」にて実施。 ・環境活動推進室報告。「10月食品ロス削減月間」「12月地球温暖化防止月間」「プラ 削減取り組み」等について報告。
2022年1月25日 (火) 第32期第5回環境部会 (リモート会議) 部会員25名、連合会5名出席	第4回・SDGs環境部会内部学習会 雪印メグミルク (株) より報告、質疑応答。 CSR (Corporate Social Responsibilityの頭文字)、訳「企業の社会的な責任」となり ます。同社では、SDGsとCSR重要課題 (マテリアリティ) を結びつけ、5つの重点課題、 全国事業所を対象に発表、表彰制度に取り組んでいるとの報告がありました。 ・2021年度 (第32期) 環境部会講演会。 日時: 2022年3月29日 (火) 13:30～ テーマ: 「SDGsは未来への投資 ～事業・経営への実装～」で開催予定を決定しました。 ・2021年度 (第32期) 環境部会オンライン研修会 開催時期: 2022年3月 研修先: 太陽油脂 (株) 「地球の未来にまじめなボディソープ」 ・2022年度環境部会開催予定について ・6回/年→5回/年に、所要時間60分→90分に変更。

月日・場所	内 容
2022年3月29日 (火) 13:30～ 2021年度 (第32期) 環境部会講 演会 (リモート開催) 95アクセス・約100名参加。	・「SDGsを経営および事業に生かす～進め方と実践事例～」 講師：CSR/SDGsコンサルタント/千葉商科大学基盤教育機構・教授 笹谷 秀光氏 ・SDGsに、長年携わった経験を生かし、SDGsの17目標、169のターゲットまでを視野に入れ、「笹谷マトリックス」まで、落とし込んで実践することの重要性の説明がありました。 参加者からは、SDGsに取り組む姿勢は、非常に参考になったとの評価でした。
2022年3月29日 (火) 13:00～14:00 第32期第6回環境部会 (リモート会議) 部会員20名、連合会4名参加。	4月25日 (月) ・太陽油脂にて決定。 ・2022年度・環境部会活動計画。海岸クリーンアップ活動については、パルシステム8～10月に予定している「自然共生社会に向けたアクション」企画と連動し開催することとなりました。 ・部会は、5回/年、時間、60分→90分に変更。 ・「環境活動推進室」報告。 ・次年度のパルシステム環境の取り組み「環境・気候変動アクション2022」について報告。
2022年4月25日 (月) 13:00～14:00 2021年度 (第32期) 環境部会オ ンライン研修会	2021年度 (第32期) 環境部会オンライン研修会開催 ・「地球の未来にまじめなボディソープ」製造メーカー・太陽油脂・オンライン工場見学研修を実施。改めて、環境問題への取り組み、組合員の声等を確認しました。



SDGsを経営および事業に生かす～進め方と実践事例～



2030アジェンダ前文の5つのPとSDGs

SDGsはなぜ世界共通言語なのか

SDGsとは何か
円環バッジ? マーク?

SDGs : Sustainable Development Goals
(持続可能な開発目標)

「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」
Transforming our world: the 2030 Agenda for Sustainable Development

2015年9月
国連全加盟193か国の合意文書
SDGsは英文35ページの中の約15ページ
目標年次2030年

2030アジェンダの構成
前文・各種原則
SDGs(17目標と169ターゲット)
フォローアップなど

©2022 hasegawa 無断二次利用はご遠慮ください。

SDGsはなぜ世界共通言語なのか

ジャパンSDGsアワード受賞団体 (第1回)

【企業は4社受賞】

第1回「ジャパンSDGsアワード」受賞団体
SDGs推進本部長(内閣総理大臣)賞
北海道下川町

SDGs推進副本部長(内閣官房長官)賞

- ・特定非営利活動法人しんせい
- ・パルシステム生活協同連合会
- ・金沢工業大学

SDGs推進副本部長(外務大臣)賞

- ・サラヤ株式会社
- ・住友化学株式会社

SDGsパートナーシップ賞(特別賞)

- ・吉本興業株式会社
- ・株式会社伊藤園
- ・江東区立八名川小学校
- ・国立大学法人岡山大学
- ・公益財団法人ジョイセフ
- ・福岡県北九州市

外務省 ホームページより https://www.kantei.go.jp/jp/singi/sdgs/japan_sdgs_award_dai1/siryou2.pdf

©2022 hasegawa 無断二次利用はご遠慮ください。

ジャパンSDGsアワード受賞団体(第1回)

2. まとめ《2021年度活動報告》

【2021年度活動報告】

2021年度の活動は、長期化する新型コロナウイルスへの感染リスクを最小限に抑えながらも、部会としての継続的な活動を行うべく、昨年度に引き続きオンラインならではの利点を活かした様々な工夫を凝らしながら取り組んで参りました。特に今期より取り組みを開始した「SDGs」をテーマとした環境部会内のオンラインでの勉強会（全4回開催）では、多様な企業の集合体である協力会ならではの各社各様の実体験としての活動内容を知り、自社の取り組みに役立てるきっかけともなり得るものでした。また、オンラインでの研修会・講演会（各1回ずつ開催）は、企業活動を推進する観点から「SDGs」へどう取り組むべきかという本質的なテーマに対し外部の知見を得ることができる大変貴重な場であったと実感しております。

このような状況下においても部会として継続的に活動が行えましたこと、全ての関係者の皆様に改めて深く感謝申し上げます。

【今後の課題と展望】

想定以上に長引くこととなった活動の自粛や制限もようやく出口の明かりが見えてきた状況にあります。2022年度は様々な活動をハイブリッド開催へシフトすることを予定しつつ、この間活動自粛を余儀なくされ、開催したくてもできなかった海岸クリーンアップ活動や視察研修会等の再開も視野に入れています。

部会における活動の拠り所となる「パルシステム環境政策」、そして「環境・気候変動アクション2022」の方針と取り組み内容を部会員皆が十分理解し、業界を環境でリードするパルシステムグループへの一層の貢献を果たすべく連携を強化し、邁進する所存です。

また、本活動を会員企業の抱える多種多様な課題解決の一助ともなるような活動とすべく、皆が一体となって知恵を出し合い、より一層の「パートナーシップ」を発揮した取り組みを進めて参ります。

最後になりますが、部会の活動にあたりパルシステムグループ様をはじめ協力会各位にご尽力をいただき、改めてこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

異業種交流部会・活動報告

メンバー

(敬称略)

部会員 (部会長)	(株) タケイ	蒔田 雄二
部会員 (副部会長)	平田産業 (有)	平田 孝一
	(株) 水宗園本舗	八木 誠
部会員	アズマ工業 (株)	景浦 香澄
	(株) 安間産業	安間 大起
	SBSゼンツウ (株)	岡本 佳徳
	奥本製粉 (株)	木村 務
	(株) かがやくコスメ	丸山 澄華
	(株) 風見	高橋 哲也
	(株) カジノヤ	梶 光則
	(有) カワグチ企画	清水 美香
	(株) 北館製麺	北館 大輔
	共生食品 (株)	小野寺 和明
	(株) くらし企画	安島 賢
	(株) コジット	古川 雅也
	酒井産業 (株)	酒井 幹治
	(株) 彩生舎	安東 依子
	サンスター (株)	太田 光
	JPホームサプライ (株)	宮治 豊
	協同組合JASMEQ	小野 章男
	(株) ジャパンビューティプロダクツ	伊藤 大輔
	(株) スクロール	五十嶋 綾乃
	大洋香料 (株)	東野 公彦
	千倉水産加工販売 (株)	今 圭介
	(株) 兆星	五味川 正裕
	(株) 東京コールドチェーン	新蔵 英仁
	トーエー食品 (株)	鈴木 雅之
	(株) 中村商店	中村 利昭
	(株) にんべんフーズ	真野 晃誠
	(株) パシフィック・トレード・ジャパン	水田 亮子
	(株) パルシステム電力	喜田 敦
	(株) 丸藤	田代 己津雄
	丸和油脂 (株)	田村 将史
	(株) みそ半	森本 哲也
	(株) YUIDEA	渡辺 陽樹
	(株) 流通サービス	花井 健太郎
	(株) ロジカル	久保 裕介
オブザーバー	平田産業 (有)	中村 竜也
	(株) 水宗園本舗	山口 裕市
	パルシステム連合会	川村 健一
オブザーバー (書記)	(株) タケイ	渡辺 浩子

1.活動日誌

月日・場所	内 容
2021年5月20日 (木) 2021年度 (第32期) 第1回異業種 交流部会 (リモート会議) 部会員37名、連合会3名出席	・部会内プレゼン：(株)風見、(株)みそ半2社開催。 風見：ドレッシングアレンジレシピ紹介、みそ半：島原そうめんのこだわり、海はいのちの説明がありました。 ・第32期異業種交流部会活動計画 (案) 部会内プレゼンは継続して行っていく。 各種公開セミナー開催 (「働き方改革」 「Withコロナ時代の経済見通し」 「IT戦略」 「SDGs」 等) オンライン産地見学会 (例：ホームトンバナナ/タイ) ※リアル研修会に代わり オンライン施設見学会 (例：杉戸リサイクルセンター)
2021年7月30日 (金) 第2回異業種交流部会 (リモート会議) 部会員37名、連合会3名出席	・部会内プレゼン：(株)東京コールド・平田産業、2社開催。 東京コールド：全国より商品仕入れ、パル神奈川との交流説明、平田産業：カンガルー島菜種油について報告がありました。 ・八木副部長より、Remoを使用した部会内ワークショップの提案がありました。次回部会にて検討することとなりました。
2021年9月29日 (水) 第3回異業種交流部会 (リモート会議) 部会員32名、連合会4名出席	・部会内プレゼン：千倉水産加工販売(株)・(株)北館製麺、2社開催。 房州千倉・干物加工の歴史、北館製麺、生産、加工、販売までの一貫した流れの説明がありました。 ・部会内交流会。交流テーマ：「コロナ禍における自社の取り組み/企業活動について」「コロナ禍における働き方 (改革) について」を約1時間にわたり、4人ずつ6グループに分け、討議、まとめ、発表を行いました。 ・コロナ禍、工場等現場ではテレワークは導入不可能、同居営業所も影響受けている実態。リモートプレゼンの苦勞、女性にとっては、テレワークは歓迎等の報告がありました。
2021年11月25日 (木) 第4回異業種交流部会 (リモート会議) 部会員33名、連合会4名出席	2021年度異業種交流部会内講演会開催の検討。 商品が各会員生協へ届けられる前の仕組みについてのプレゼンを検討します。 ・SGDsへの取り組み・実践報告／(有) 平田産業へ依頼します。
2022年1月27日 (木) 第5回異業種交流部会 (リモート会議) 部会員32名、連合会4名出席	・部会内プレゼン：協同組合JASMEQ・(株) パルシステム電力、2社開催。 JASMEQ、品質管理指導から始まった経過、全国の銘品を仕入れ販売している現状の説明がありました。 パルシステム電力、全国の再生可能エネルギー産地の紹介、今後の展望について報告がありました。 ・2021年度異業種交流部会・講演会 2022年4月目途、鈴木政次氏 (ガリガリ君開発者) に依頼予定。ビジネスのヒントとなる。

月日・場所	内 容
2022年3月24日 (木) 第6回異業種交流部会 (リモート会議) 部会員32名、連合会4名出席	・部会内プレゼン：(株) YUIDEA 渡邊 陽樹氏 首都圏コープからパルシステムまで、紙面作成にどのように関わってきたか説明がありました。 ・SDGsへの取り組み 実践報告 ・講師：(有)平田産業 中村竜也氏 2017年パルシステムがSDGsアワードSDGs推進副本部長賞を受賞したのがきっかけ。 2021年より本格スタートとなりました。 ① Non-GMO原料の取り組み。 ② 国産種子を積極的に取り入れて自給率をあげる。 ③ 環境に配慮した取り組み。FSC認証に対応した包材への順次切り替え、菜種油製造過程での排出物の再利用。 ④ より働きやすい職場環境づくり 男女平等、年代や障がい者に対しても考慮した仕組み作り。社内講習、就業規約の見直し。 ・2022年度異業種交流部会活動計画。上期では徐々にリアル開催の検討、下期は、産地交流としてさらに異業種の視察や見学なども行っていきたい。
2022年4月21日 (木) 13:00～14:40 2021年度異業種交流部会講演会 (リモート開催) 95アクセス・約100名参加。	2021年度 (第32期) 異業種交流部会講演会 ・演題：「イマドキ部下とうまく付き合うビジネスホスピタリティ」 ・講師：株式会社アーマイズ 代表取締役 日置 忍 (ひおき しのぶ) 氏 社内コミュニケーションをテーマとしたもので、講師が質問を参加者に投げかけたり、今までになかったタイプの講演会でした。 ※講演会の内容を、42ページにて紹介しています。

2.まとめ《2021年度活動報告》

【2021年度活動報告】

本年度の活動についても、20年度同様に新型コロナ予防対策において、対面における交流活動及び懇親会は実施いたしませんでした。

そうした情勢の中でも、リモート機能を使用し、各会員の企業・事業内容のプレゼンを実施し、約3カ年になりましたが全部会員の実施が終了できました。

各部会員における事業・パルシステム様への活動内容について親交ができ、今後の各部会員の事業活動への礎になる事を祈願しております。

また全体会から業種、業態毎小グループでのリモート機能を使用した交流会を実施し、全体会では時間の制約含め、発言しにくい場面もありましたが、小グループでの交流会にて、コロナ情勢での各部会員の実態、課題、悩み等を共有する事ができました。

全体研修では、今回はコロナ情勢での営業スキルについてのテーマで講演をいただきましたが、今回はこの約3年のコロナ情勢における、各組織におけるマネジメントをテーマとした内容を実施いたしました。

とくに人事異動、新入社員の時期に当たり、コロナ情勢での部下や後輩への接し方、運営、マネジメントのヒントになる内容となりました。

パルシステム協力会事務局サイドから、各取組におけるヒントやレクチャー準備について詳細にサポートいただき運営を滞りなく実施でき、感謝いたします。

【今後の展望と課題】

各部会員組織での、規定に左右されますが、情勢を見ながら、対面会議、部会員メーカー産地研修（SDGs実践等）、機会が許せば生消協メンバーの産地交流と合わせ、各会員生協・組合員学習会に向けての実施研修、外部セミナー等の企画について、部会員の要望と合わせ企画を進めてまいります。

以上

演題：2021年度 異業種交流部会 講演会（リモート開催）2022年4月21日

講師：日置 忍

「イマドキ部下とうまく付き合うビジネスホスピタリティ」

SNS 社会が拡大している今、若手のコミュニケーション力に関する課題を抱える職場は急激に増えています。

人とどのように向き合ったらよいかわからないまま社会人になる若者が増え、バブル時代の上司がかつて、自分たちがされた手法で指導育成しようとする。それが「パワハラ」「セクハラ」といった傾向を生んでいます。

実は、今、彼らを育成する立場の上司が、多様な「コミュニケーションスタイル」を理解しなくてはならない時代。

この「コミュニケーションスタイル」に大切なことが「ホスピタリティ」です。

コミュニケーションは一方的な「伝える」から「伝え合う」に進化させることで、真の相乗効果を発揮します。

その時に重要なことが「自分の思い込み・思い癖を外す」ことです。

この講演では、色々な事例とワークでセルフチェックを活用し「相手と自分にとって最幸の出会いだ」と思えるビジネス力のパワーアップにお役立ていただくものです。また、仕事だけでなくご家庭やあらゆるシーンにおいて人間力向上につながる内容をお伝えいただきました。

日置 忍（ひおき しのぶ） 先生



ホスピタリティコーチ

米国 NLP 協会認定 NLP プラクティショナー

ガイドヘルパー（視覚障がい者、車椅子対応資格）

空港グランドホステス、リゾートホテル社員研修トレーナー、女子サッカーチーム マネージャー、スポーツ選手マネジメント会社を経て、独立し、(株)アマーイズ設立。様々なホスピタリティビジネスの経験を活かし、「真のホスピタリティ」を追求し、「気づき」を重視した研修を多数行う。「ホスピタリティ」というあらゆる人間関係に大切な時代のキーワードを＜相手に＞＜自分に＞提供できるメソッドを伝えます。

- ・ JAL ビジネスアカデミー接客研修課程修了
- ・ 米国 NLP 協会認定 NLP プラクティショナー修了
- ・ NPO 法人「日本話しことば検定」2 級取得

協力会・会員名簿

2022年4月1日現在

正会員

1	株式会社アイケイ	41	有限会社カネモ
2	愛知園芸株式会社	42	株式会社カミノフーズ
3	アイメディア株式会社	43	株式会社ガルト
4	青森県農村工業農業協同組合連合会	44	有限会社カワグチ企画
5	秋本食品株式会社	45	株式会社カワタキコーポレーション
6	有限会社アグリサポートシステム	46	株式会社河村屋
7	アサヒグループ食品株式会社	47	株式会社神沢川酒造場
8	麻布タカノ株式会社	48	有限会社菊水堂
9	アスザックフーズ株式会社	49	私市醸造株式会社
10	アズマ工業株式会社	50	株式会社北尾化粧品部
11	株式会社アトラスネットワーク	51	キッコーマン食品株式会社
12	株式会社安間産業	52	株式会社木村食品工業
13	株式会社井ゲタ竹内	53	有限会社共食
14	有限会社和泉屋	54	共生食品株式会社
15	いなば食品株式会社	55	株式会社協同企画
16	株式会社井上食品	56	協同水産流通株式会社
17	茨城乳業株式会社	57	協同乳業株式会社
18	茨木海苔株式会社	58	株式会社協立
19	有限会社内池平蔵商店	59	株式会社協和
20	エア・ウォーター炭酸株式会社	60	株式会社ぎょれん北光
21	株式会社エーアンドティー	61	窪田味噌醤油株式会社
22	エスケー石鹼株式会社	62	クラウンフーズ株式会社
23	SBS ゼンツウ株式会社	63	株式会社くらし企画
24	越後ふとん株式会社	64	株式会社グリーンピア
25	エム・シーシー食品株式会社	65	グリーンリーフ株式会社
26	株式会社エムシーサービス	66	ケンコーマヨネーズ株式会社
27	株式会社エリックス	67	興真乳業株式会社
28	大石産業株式会社	68	株式会社コーベヤ
29	株式会社おがた蒲鉾	69	コーミ株式会社
30	小川産業株式会社	70	国分首都圏株式会社
31	株式会社沖縄物産企業連合	71	国分フードフリエイト株式会社
32	奥本製粉株式会社	72	有限会社コクヨー
33	株式会社オフィス・パイ	73	株式会社コジット
34	株式会社オリエンタルフーズ	74	株式会社コム計画室
35	株式会社オルター・トレード・ジャパン	75	コモライフ株式会社
36	株式会社かがやくコスメ	76	株式会社西昆
37	株式会社風見	77	株式会社彩生舎
38	株式会社カジノヤ	78	酒井産業株式会社
39	金砂郷食品株式会社	79	さとの雪食品株式会社
40	株式会社金庄	80	株式会社三協運輸サービス

正会員			
81	株式会社サンコー	124	株式会社高山
82	サンスター株式会社	125	株式会社匠集団そら
83	三陽物産株式会社	126	株式会社タケイ
84	株式会社シーサット	127	田辺商事株式会社
85	株式会社 JA しみずサービス	128	千葉県漁業協同組合連合会
86	JA 新潟かがやき (旧：JA ささかみ)	129	株式会社兆星
87	JP ホームサプライ株式会社	130	長龍酒造株式会社
88	協同組合 JASMEQ	131	株式会社つきじ深村
89	株式会社ジャパンビューティプロダクツ	132	デイリーフーズ東京販売株式会社
90	株式会社十文字チキンカンパニー	133	テーブルランド株式会社
91	正栄食品工業株式会社	134	株式会社テロワール・アンド・トラディション・ジャパン
92	昭和電工ガスプロダクツ株式会社	135	株式会社トウ・キューピー
93	シンコー食品株式会社	136	東京高速印刷株式会社
94	株式会社新藤	137	株式会社東京コールドチェーン
95	株式会社水宗園本舗	138	トーエー食品株式会社
96	株式会社スクロール	139	トータス株式会社
97	株式会社スマイル	140	株式会社トクスイコーポレーション
98	株式会社酢屋茂	141	株式会社戸田酒販
99	スワ運輸株式会社	142	トップ産業株式会社
100	有限会社生活アートクラブ	143	有限会社砥用食品
101	株式会社セイトウ	144	株式会社トライエックス
102	西武酪農乳業株式会社	145	長崎県漁業協同組合連合会
103	有限会社清和商会	146	長野県農協直販株式会社
104	全国漁業協同組合連合会	147	長野森林組合
105	全国農協食品株式会社	148	株式会社中村商店
106	全国海苔貝類漁業協同組合連合会	149	株式会社ナシオ
107	全農パールライス株式会社	150	株式会社ナックス
108	株式会社全農ライフサポート山形	151	成田食品株式会社
109	全酪フーズ株式会社	152	株式会社南部フーズ
110	株式会社創健社	153	21 世紀コーヒー株式会社
111	第一セントラル設備株式会社	154	株式会社ニチレイフレッシュ
112	株式会社泰山食品商行	155	株式会社ニッキーフーズ
113	太子食品工業株式会社	156	株式会社ニッコー
114	大成印刷株式会社	157	日東富士製粉株式会社
115	大山乳業農業協同組合	158	株式会社日本アクセス
116	大都魚類株式会社	159	日本水産株式会社
117	タイヘイ株式会社	160	日本ハム株式会社
118	大洋香料株式会社	161	日本オリゴ株式会社
119	太陽油脂株式会社	162	日本食研株式会社
120	株式会社高商	163	株式会社仁徳
121	有限会社タカショウ	164	株式会社にんべんフーズ
122	高橋ソース株式会社	165	花嫁わた株式会社
123	株式会社高橋徳治商店	166	株式会社浜食

正会員			
167	株式会社パルシステム電力	210	株式会社みそ半
168	株式会社パルシステム・リレーションズ	211	三菱商事ライフサイエンス株式会社
169	榛名直販株式会社	212	三菱食品株式会社
170	株式会社パルブレッド	213	南伊豆水産株式会社
171	株式会社パル・ミート	214	有限会社宮醤油店
172	株式会社パルライン	215	明星食品株式会社
173	東銀座印刷出版株式会社	216	柳原出版株式会社
174	東日本産業株式会社	217	ヤマキ株式会社
175	ひかり味噌株式会社	218	株式会社ヤマキ
176	株式会社常陸屋本舗	219	有限会社やまこみそ
177	株式会社ピックルスコーポレーション	220	山印醸造株式会社
178	株式会社平井	221	有限会社山田養蜂場
179	平田産業有限会社	222	山菱水産株式会社
180	株式会社ファーストフーズ	223	株式会社山星屋
181	ファミリー・サービス・エイコー株式会社	224	山屋食品株式会社
182	株式会社ふくれん	225	株式会社YUIDEA
183	富士山の銘水株式会社	226	雪印メグミルク株式会社
184	株式会社藤文	227	有限会社雪和商事
185	株式会社ふじや食品	228	株式会社ユニマツキャラバン
186	株式会社不動化学	229	有限会社ライフ・アート
187	プリマハム株式会社	230	有限会社ランカスター
188	株式会社ベニレイ	231	株式会社リアス
189	ボーソー油脂株式会社	232	株式会社流通サービス
190	株式会社ポールスタア	233	株式会社ロジカル
191	ホクレン農業協同組合連合会		
192	北海道漁業協同組合連合会		
193	北海道チクレン農業協同組合連合会		
194	株式会社ホンダ水産		
195	有限会社ますだ		
196	松岡水産株式会社		
197	松山油脂株式会社		
198	株式会社丸井スズキ		
199	丸久味噌株式会社		
200	株式会社マルダイ長沼		
201	マルハニチロ株式会社		
202	株式会社丸藤		
203	丸紅食料株式会社		
204	丸和食品株式会社		
205	丸和油脂株式会社		
206	みえぎょれん販売株式会社		
207	三重県漁業協同組合連合会		
208	水野食品株式会社		
209	美勢商事株式会社		

準会員			
1	アートプランニング株式会社	44	テーブルマーク株式会社
2	有限会社アキヤマ食品	45	株式会社東映エージェンシー
3	株式会社浅野屋	46	東京海上日動火災保険株式会社
4	株式会社アジテック・ファインフーズ	47	戸田酒造株式会社
5	味の素冷凍食品株式会社	48	富栄海運有限会社唐津営業所シーボーン昭徳
6	株式会社阿波市場	49	株式会社ニチレイフーズ
7	株式会社イトアンドフーズ	50	日東ベスト株式会社
8	伊丹産業株式会社	51	株式会社パシフィック・トレード・ジャパン
9	伊藤ハムミート販売東株式会社	52	ハチ食品株式会社
10	井村屋株式会社	53	株式会社パネックス
11	魚津漁業協同組合	54	株式会社浜甚
12	株式会社栄喜堂	55	濱田酒造株式会社
13	小川珈琲株式会社	56	株式会社HAL GREEN
14	カゴメ株式会社	57	株式会社パルふれあいサービス
15	有限会社かね久海産	58	阪神低温株式会社
16	金子産業株式会社	59	株式会社ピーコック
17	兼松株式会社	60	日野出株式会社
18	株式会社鎌倉ハムクラウン商会	61	株式会社フーズプランナー
19	株式会社川喜	62	株式会社フーディーネットジャパン
20	関東日本フード株式会社	63	福島エーアンドエーブロイラー株式会社
21	株式会社北館製麺	64	不二製油株式会社
22	木徳神糧株式会社	65	フジパン株式会社
23	株式会社木村屋總本店	66	プライフーズ株式会社
24	クレードル食品株式会社	67	マスコー製紙株式会社
25	コアレックス信栄株式会社	68	株式会社マルハニチロリテールサービス
26	光海株式会社	69	三井住友海上火災保険株式会社
27	ゴールドパック株式会社	70	明神水産株式会社
28	株式会社小善本店	71	矢崎紙工株式会社
29	株式会社コモ	72	有限会社山田商店
30	佐井村漁業協同組合	73	大和産業株式会社
31	サトウ食品株式会社	74	株式会社山安
32	JA全農ミートフーズ株式会社	75	株式会社ゆう屋
33	JA全農ミートフーズ株式会社(加工品)	76	横山製粉株式会社
34	JAおとふけ	77	株式会社吉野家
35	四国日清食品株式会社	78	リスパック株式会社
36	信越明星株式会社		
37	信州ハム株式会社		
38	全農チキンフーズ株式会社		
39	第一糖業株式会社		
40	たいまつ食品株式会社		
41	株式会社タカキベーカリー		
42	有限会社高千穂漢方研究所		
43	千倉水産加工販売株式会社		

特別会員			
1	パルシステム茨城 栃木	6	パルシステム千葉
2	パルシステム神奈川	7	パルシステム東京
3	パルシステム群馬	8	パルシステム新潟ときめき
4	パルシステム埼玉	9	パルシステム福島
5	パルシステム静岡	10	パルシステム山梨

2021年度パルシステム商品学習会 工場見学開催実績

※2021年度センターまつりの開催はありませんでした

会員名	種 別	東京	神奈川	千葉	埼玉	茨城 栃木	山梨	群馬	福島	静岡	新潟	小計	合計
アズマ工業株式会社	オンライン学習会											0	0
	リアル学習会											0	
株式会社井ゲタ竹内	オンライン学習会	1		2			1					4	4
	リアル学習会											0	
伊藤忠食糧株式会社 (第一糖業株式会社)	オンライン学習会											0	1
	リアル学習会		1									1	
茨城乳業株式会社	オンライン学習会					1			1			2	3
	リアル学習会	1										1	
エスケー石鹸株式会社	オンライン学習会		1									1	2
	リアル学習会									1		1	
株式会社エムシーサービス	オンライン学習会			2								2	2
	リアル学習会											0	
エム・シーシー食品株式会社	オンライン学習会											0	0
	リアル学習会											0	
株式会社オルター・ トレード・ジャパン	オンライン学習会	2		1		2				1		6	6
	リアル学習会											0	
株式会社かがやくコスメ	オンライン学習会		1	1					1			3	3
	リアル学習会											0	
株式会社風見	オンライン学習会	1										1	1
	リアル学習会											0	
株式会社かじのや	オンライン学習会			1	1							2	2
	リアル学習会											0	
株式会社河村屋	オンライン学習会	1										1	1
	リアル学習会											0	
私市醸造株式会社	オンライン学習会			1		1						2	2
	リアル学習会											0	
共生食品株式会社	オンライン学習会											0	0
	リアル学習会											0	
協同水産流通株式会社	オンライン学習会					1						1	1
	リアル学習会											0	
株式会社ぎょれん北光	オンライン学習会		1									1	1
	リアル学習会											0	
窪田醤油味噌株式会社	オンライン学習会											0	0
	リアル学習会											0	
グリーンリーフ株式会社	オンライン学習会			1								1	1
	リアル学習会											0	
コーミ株式会社	オンライン学習会	1										1	1
	リアル学習会											0	
国分首都圏株式会社 (小川珈琲株式会社)	オンライン学習会	1		2								3	4
	リアル学習会	1										1	

会員名	種 別	東京	神奈川	千葉	埼玉	茨城 栃木	山梨	群馬	福島	静岡	新潟	小計	合計
国分首都圏株式会社 (株式会社北館製麺)	オンライン学習会						1					1	1
	リアル学習会											0	
株式会社コジット	オンライン学習会											0	0
	リアル学習会											0	
株式会社コスモ (株式会社中村商店)	オンライン学習会											0	0
	リアル学習会											0	
株式会社コモ	オンライン学習会	1		1								2	4
	リアル学習会	2										2	
株式会社彩生舎	オンライン学習会	2		2								4	4
	リアル学習会											0	
サンスター株式会社	オンライン学習会			1								1	2
	リアル学習会	1										1	
株式会社ジーピーエス	オンライン学習会											0	0
	リアル学習会											0	
J Pホームサプライ株式会社	オンライン学習会		2					1				3	3
	リアル学習会											0	
株式会社ジャパンビューティー プロダクツ	オンライン学習会	3	2	1		4						10	13
	リアル学習会	3										3	
株式会社水宗園本舗	オンライン学習会	2		1								3	3
	リアル学習会											0	
株式会社スクロール	オンライン学習会											0	1
	リアル学習会	1										1	
全国漁業協同組合連合会	オンライン学習会	1	1	1			1	1				5	5
	リアル学習会											0	
全国農協食品株式会社	オンライン学習会											0	0
	リアル学習会											0	
大洋香料株式会社	オンライン学習会	1		2								3	3
	リアル学習会											0	
太陽油脂株式会社	オンライン学習会			1								1	1
	リアル学習会											0	
千葉県漁業協同組合 (株式会社ゆう屋)	オンライン学習会											0	0
	リアル学習会											0	
デイリーフーズ東京販売株式会社	オンライン学習会	3		1								4	4
	リアル学習会											0	
株式会社東京コールドチェーン	オンライン学習会											0	0
	リアル学習会											0	
トーエー食品株式会社	オンライン学習会											0	0
	リアル学習会											0	
トップ産業株式会社 (株式会社コスモビューティー)	オンライン学習会		1									1	1
	リアル学習会											0	

会員名	種 別	東京	神奈川	千葉	埼玉	茨城 栃木	山梨	群馬	福島	静岡	新潟	小計	合計
21世紀コーヒー株式会社	オンライン学習会							1				1	1
	リアル学習会											0	
株式会社日本アクセス	オンライン学習会											0	0
	リアル学習会											0	
日本水産株式会社	オンライン学習会		1									1	1
	リアル学習会											0	
株式会社にんべんフーズ	オンライン学習会	2					1					3	3
	リアル学習会											0	
株式会社パシフィック・ トレード・ジャパン	オンライン学習会											0	0
	リアル学習会											0	
パルシステム連合会産直事業本部	オンライン学習会	1		1					1			3	5
	リアル学習会	2										2	
株式会社パルブレッド	オンライン学習会	2	4	1								7	8
	リアル学習会		1									1	
株式会社パルミート	オンライン学習会	7		3	2	1	1		1		1	16	16
	リアル学習会											0	
美勢商事株式会社	オンライン学習会				1							1	1
	リアル学習会											0	
平田産業有限会社	オンライン学習会	1	3			1				1		6	6
	リアル学習会											0	
株式会社ふくれん	オンライン学習会					1						1	1
	リアル学習会											0	
ボーソー油脂株式会社	オンライン学習会											0	0
	リアル学習会											0	
松山油脂株式会社	オンライン学習会											0	2
	リアル学習会	2										2	
株式会社丸藤	オンライン学習会	1		1			2		1			5	6
	リアル学習会	1										1	
丸紅食料株式会社	オンライン学習会	1		1								2	2
	リアル学習会											0	
丸和油脂株式会社	オンライン学習会			1		1						2	2
	リアル学習会											0	
株式会社みそ半	オンライン学習会					1						1	1
	リアル学習会											0	
三菱食品株式会社 (井村屋株式会社)	オンライン学習会	3				1						4	4
	リアル学習会											0	
三菱食品株式会社 (信越明星株式会社)	オンライン学習会			1								1	1
	リアル学習会											0	
三菱食品株式会社 (株式会社ニチレイフーズ)	オンライン学習会	1					1		1			3	3
	リアル学習会											0	

会員名	種 別	東京	神奈川	千葉	埼玉	茨城 栃木	山梨	群馬	福島	静岡	新潟	小計	合計
三菱食品株式会社 (日清オイリオグループ株式会社)	オンライン学習会	2										2	2
	リアル学習会											0	
三菱食品株式会社 (日東富士製粉株式会社)	オンライン学習会	2		1		2						5	6
	リアル学習会					1						1	
三菱食品株式会社 (日東ベスト株式会社)	オンライン学習会						1					1	1
	リアル学習会											0	
雪印メグミルク株式会社	オンライン学習会											0	0
	リアル学習会											0	
株式会社ユニマットキャラバン	オンライン学習会											0	1
	リアル学習会	1										1	
株式会社リアス	オンライン学習会	3				1						4	4
	リアル学習会											0	
連合会商品担当 (yumyum)	オンライン学習会		1									1	1
	リアル学習会											0	
小計	オンライン学習会	46	18	32	4	18	9	3	6	2	1	139	
	リアル学習会	15	2	0	0	1	0	0	0	1	0	19	
総計		61	20	32	4	19	9	3	6	3	1		158

設定 1990 年 10 月 26 日
改訂 2009 年 7 月 2 日
改訂 2011 年 7 月 12 日
改訂 2013 年 7 月 2 日
改訂 2014 年 7 月 8 日
改訂 2016 年 7 月 6 日
改訂 2019 年 7 月 20 日
改訂 2021 年 4 月 7 日
改訂 2021 年 7 月 6 日

パルシステム協力会 会 則

第 1 章 総 則

- 第 1 条 この会は、パルシステム生活協同組合連合会の事業及び運動を支える生産者業者の連帯を深め、連合及び会員の相互発展を図ることを目的とする。
- 第 2 条 この会は「パルシステム協力会」と称する。
- 第 3 条 この会は第 1 条の目的を達成するために、次の事業を行う。
1. 会員とパルシステム生活協同組合連合会との連絡及び調整
 2. 会員の事業に必要な連合の情報資料の提供
 3. 会員の親睦、交流、向上を図る事業
 4. 会員の研修会
 5. その他、前各号に付帯する事業
- 第 4 条 この会の事務所を、東京都新宿区大久保 2- 2- 6 ラクアス東新宿 パルシステム生活協同組合連合会内におく。

第 2 章 会 員

- 第 5 条 1. この会は次の各号に該当する者で目的に賛同する者をもって組織する。
- ①正 会 員 パルシステム生活協同組合連合会及び子会社に口座のある取引業者は正会員となることができる
 - ②準 会 員 正会員の推薦がありパルシステム生活協同組合連合会と間接的に取引があるメーカー及び関連事業者、協力者は準会員となることができる
 - ③特別会員 パルシステム生活協同組合連合会加盟の会員単協、パルシステム生活協同組合連合会の役職員
2. この会の加入、脱退は幹事会が承認するものとする。
3. 以下の者は会員資格を喪失する。
- ①会費の未払
 - ②この会の活動を妨げ又は著しく信用を失わせる行為をした者
 - ③パルシステム生活協同組合連合会と直接又は間接に取引の無くなった者

第 3 章 役 員

- 第 6 条 1. この会は次の役員を置く。幹事会社 10 ～ 20 社、監事会社 3 社。
2. 役員は会長が指名した若干名の役員選挙委員会において推薦し、総会で選任するものとする。
3. その任期は 2 年とし、再任は妨げない。

4. 初年度の役員は、任期を1年とする。
5. 監事会社は会計及び活動の遂行を監査する。

第7条 1. この会に幹事会を置く。幹事会は幹事会社をもって組織する。
2. 幹事会は会長が召集する。

第8条 1. 幹事会において、会長1人、副会長1～2人、会計2人、事務局長1人を互選する。
2. 会長はこの会を代表し、会務を統轄する。
3. 副会長は、会長を補佐し、会長に不都合の時は、その任務を代行する。
4. 事務局長は、事務局を統轄する。

第9条 1. 幹事会は、総会において議決された事項の実施について具体的な審議を行うほか、緊急事項についてはこれを裁決実施し、次の総会に報告するものとする。

第10条 1. この会は相談役をおくことができる。
2. 相談役は会長経験者から選任し、幹事会で承認する。
3. 任期は2年とし、最大6年までとする。
4. 相談役は本人が希望すれば幹事会にオブザーバーとして出席することができる。

第4章 総 会

第11条 1. 総会はこの会の最高議決機関とし、毎年1回会長が召集する。
2. 前項のほか幹事会が必要と認めた場合、会長は臨時に総会を召集することができる。

第12条 1. 総会は正会員の過半数の出席をもって成立し、議決は多数決によりおこなう。ただし、可否同数の場合は議長が裁決する。なお、総会開催前に委任状を提出した者は、総会に出席した者とし、委任状を提出した総会の議決を承認したものとする。
2. あらかじめ通知された事項について書面議決書を提出した者も総会に出席した者とする。

第13条 総会の議決を要する事項は、次の通りとする。
①会則の改廃
②役員を選任、並びに解任
③事業計画、収支予算の決定、並びに会費の徴収に関する事項
④収支・決算及び事業報告に関する事項
⑤前各号以外の特に重要と認められる事項

第5章 会 計

第14条 この会の基金及び経費は次の収入をもって充てる。
①会費
②臨時会費
③寄付及び補助金
④その他の収入

第15条 別途定める会費基準によるものとする。
①期中の加入については、月割計算で会費を徴収する。
②期中の退会については、会費の返却は行わない。

第16条 1. この会の事業年度は、5月1日から翌年4月末日とする。
2. 創立初年度は、10月26日より翌年4月末日までとする。

第6章 雑 則

- 第17条 1. 会員は幹事会の承認を得て、必要に応じて部会等を組織することができる。
2. この会は「パルシステム協力会ふれあい保障制度」を定め、別途基準により運営するものとする。

第7章 付 則

第18条 会員は本会の会則並びに決議を遵守しなければならない。

第19条 会則は1990年10月26日より施行する。

【資 料 編】

会 費 基 準

- ①年会費は基本会費及びパルシステム生活協同組合連合会との前年度の年間取引高に基づき査定する会費の合計額とします。
- ②年会費の払い込みは、毎年5月に請求し、6月末までに払い込むこととします。但し、期中に加入した会員は加入した翌月から起算し、月割りで年度の残月数を計算した会費を加入した翌月までに払い込むこととします。
- ③準会員、特別会員は、基本会費のみとします。
- ④総会、講演会等の参加費の扱いについては、開催決定の都度幹事会にて検討・決定し、連絡を致します。
- ⑤カタログについては、商談時にお持ち帰りいただけるようにします。但し、送付を希望する会員には別途送料等実費を徴収します。
- ⑥基本会費は、正会員は取引高により4万円から4段階として取引高比例会費は表1に基づくものとします。
- ⑦準会員・特別会員は基本会費5万円のみとします。

<表 1>

(単位:円)

年間取引高	取引高 比例会費	基本会費	年会費 合計
500 万以下	0	40,000	40,000
1 千万以下	20,000	40,000	60,000
3 千万以下	30,000	50,000	80,000
5 千万以下	40,000	50,000	90,000
1 億以下	50,000	60,000	110,000
2 億以下	70,000	60,000	130,000
3 億以下	100,000	60,000	160,000
6 億以下	120,000	60,000	180,000
10 億以下	130,000	70,000	200,000
10 億超	150,000	70,000	220,000

但し、2022年度に限り年会費は規定金額の半額とします。

部会運営基準

1. 幹事会は、幹事会のもとに部会を設置します。部会は、会員によって構成されます。
2. 各部部长、副部长は、幹事会から選任し、幹事会で承認します。副部长は部部长を補佐し、部部长が不都合の時はその任を代行する。
3. 各部会は、部部长が召集します。
4. 部部长、副部长は、幹事会に出席し活動報告をします。
5. 部会員及び部部长、副部长の任期は2年とします。
6. この基準は幹事会が改廃することとします。
7. この基準は、1999年8月26日より施行します。

パルシステム協力会ふれあい保障制度運営基準

(総則)

- 第1条 1. この基準はパルシステム協力会会則の定めにより「パルシステム協力会ふれあい保障制度」の運営に関して定めるものである。
2. この制度はパルシステム協力会会員会社等で就業する従業員の福利・厚生を目的として設置するものである。

(利用会員)

- 第2条 1. パルシステム協力会会員はこの制度に加入して利用することが出来る。
2. 協力会会員の子会社などパルシステムと直接・間接に事業の協同関係にある会社・団体はこの制度に加入して利用することが出来る。但し、会員の推薦するものでなければならない。

(加入者の掛金納付)

- 第3条 この制度に加入し利用を欲するものは、毎年度、この会が定めた銀行口座（ふれあい共済口）に期限までに一年分一括で掛金を納付しなければならない。但し、期中でこの制度に加入し利用するものはその残期間の掛金とする。

(掛け金の保全)

- 第4条 1. 協力会は銀行口座（ふれあい共済口）を設け保全する。
2. 会員から振り込まれたふれあい保障制度掛金（保険料）の内95%は見舞金として株式会社パルふれあいサービスの指定する口座に振り込み、第5条に定める損害保険会社を引き受け会社として保全する。
3. 会員から振り込まれたふれあい保障制度掛金（保険料）の内5%は結婚祝金として第1項に定める銀行口座（ふれあい共済口）で保全する。

(制度の保全)

- 第5条 1. この制度の保全のために損害保険会社を引き受け会社とする保険契約を締結する。
2. 事務局は株式会社パルふれあいサービスとする。

(給付他諸手続き)

- 第6条 給付を必要とした時は損害保険会社及び株式会社パルふれあいサービスとの間で定めた細則に基づいて行う。その他、諸手続きも同様とする。

(改廃)

- 第7条 1. この基準の改廃はパルシステム協力会幹事会が行う。

(附則)

- (1) 制定・施行 2008年7月8日
- (2) 改定 2010年1月13日

幹事会 / 事務局会旅費支給規定

- 第1条 総 則
協力会の幹事会/事務局会または会として認められるその他会合への出席のための旅費の支給は本規定の定めによる。
- 第2条 支給額算出根拠
JR普通乗車券および必要と認められる場合の特急、急行券実費とする。運賃改定の場合はそれに基づき支給額を改定する。宿泊費は必要と認められた場合、1日1万円を支給する。
- 第3条 支給方法
会合開催日に現金を以て支給する。
- 第4条 規定の変更
この規定の改廃は幹事会の議決によりこれを行う。
- 第5条 付 則
この規定は1991年3月1日から実施する。

慶弔規定

- 第1条 協力会の関連団体の慶弔に関する事項は、この慶弔規定による。金額などについて裁定が必要ある時は会長が決定する。
- 第2条 対象別金額は別表の通りとする。
- 第3条 その他協力会関連の慶弔については、原則として協力会が会員を代表して行うものとする。
- 第4条 規定の変更
この規定の改廃は幹事会の議決によりこれを行う。
- 第5条 付 則
この規定は1991年3月1日から実施する。

<別表>

- (1) 創立記念日：創立5周年等、節目の記念日につき祝金を贈る。限度額3万円
- (2) 新築・落成：事務所、設備等の新築、落成につき祝金を贈る。限度額3万円
- (3) 死亡：＜香典＞ 限度額を3万円とし、パルシステム生活協同組合連合会役職員、会員生協の役員及び協力会員の1親等までを対象とする。献花はその都度会長裁定による。
- ＜弔電＞パルシステム生活協同組合連合会役職員、会員生協の役員及び協力会員の2親等までを対象とする。
- (4) 災害：天災、地変、その他不測の事故等により事務所・設備に損害等を受けた時は見舞い金を贈る。限度額3万円

上記の他、必要と認められる場合は、会長の裁定でその都度対応し、限度額3万円を贈ることができる。
これについては後日幹事会の承認を得る。

パルシステム協力会公式サイト

https://pal-kyoryokukai.jp/



2021年4月より「パルシステム協力会公式サイト」がスタートしました。
ハートをあしらった「パルシステム協力会のロゴマーク」も登場。
みなさまの連携と連帯をはかり、「パートナーシップ」のお役に立てるようなサイトをめざしています。



お役立ち情報が満載。

パルシステム組合員の暮らしを“商品の力”でよりよくしたい。そんな思いで、メーカーやベンダーなどの垣根を越えてつながっている「パルシステム協力会」。

公式サイトには、その活動や、最新情報が掲載されていますのでご活用ください。



パルシステム協力会

〒169-8527 東京都新宿区大久保2-2-6 3F
TEL (03) 6233-7201